

10、治療や経済的支援について、不便なこと、改善が必要だと思うことはありますか？

年齢	期間	
20代	1か月以内	個人事業主に対する経済的支援がほしい。
60代	半年以上	後遺症の社会認知
40代	半年以上	コロナ後遺症の適応の薬がないため、保険がきかず、自費での医療負担を強いられた。
40代	1か月～3か月	コロナ発症した時に誰でも受診できるようにするべき。適切な治療を受けられたら後遺症発症も減るのでは？
40代	半年以上	コロナ後遺症だと診断する医師が少ない。ただの精神的なものとして片付けようとする。
40代	1年以上	ヒラハタクリニック様で診断書を書いてもらい休職、労災申請が出来ました。様々な症状があるため地元でも複数病院にかかりましたが気のせいだと言われたりコロナとの関係を否定する医師しかいませんでした。地域の医師がその様では医療に繋がれない人で溢れていると思います。確立された治療はないかもしれませんが否定せず受け入れてくれる医療機関が増えて欲しいです。
30代	1年以上	退職をする事になり収入がなくなってしまう貯金を切り崩して生活する事になった。治療費がかさみ病院に行くことさえも躊躇してしまう。税金など減税できないか相談しに行ったが、夫がいるので非課税世帯には該当せず、行政からなんの支援も受けられず病院受診を諦めたりしている。 非課税世帯などのボーダーラインを設けずに実際の家計の状況などを見て判断していただきたいのと、後遺症者に対しての金銭的な援助をしていただきたい。
40代	1年以上	自費での検査費用が高すぎる
10代	1か月～3か月	コロナ陽性で入院した時のみ保険がおりるので、自宅で療養しても、後遺症になっても受診もできず、何も支援がない今の状況はあまりにも感染者にとってひどいと思います。
40代	3か月～半年	明らかに職場感染なのですが、職場が院内感染を認めません。傷病手当の書類にも市中感染と書くように強要されましたが、労災申請に切り替えました。しかし、労災の書類への記入に非協力的であり、更に精神的な苦痛を職場から与えられています。休職となり、収入がありません。貯金も底をつきました。母子家庭で、娘が働いているので生活保護の対象にもならないとのことですが、娘の給料だけで生活していくのは困難です。経済的な支援もないため、社会復帰するまでどうしていけば良いのか途方に暮れています。治療は後遺症外来の受診のみで、効果がある鍼灸やBスポット治療も受けることもできずにいます。コロナ後遺症に移行すると働けなくなります。診断が出た早期の段階で経済的な支援や治療費の支援をしていただけると、安心して療養に専念できますが、現状はそうではないので苦しいです。
40代	1か月以内	後遺症外来を増やしてほしい 療養中は何もできないためお金がかかる
10代	半年以上	鍼灸院、漢方薬など保険診療じゃない、終わりの見えない治療に、金銭面、精神面がとてつきつい
50代	1年以上	公的機関の治療費補助、税金の一時的な免除、自治体での後遺症で悩む人の実数把握の全国的な動きを求めます。
10代	1か月～3か月	味覚や嗅覚異常の場合、ほとんどの方が受診は出来てないと思います。治療も投薬もないと聞きます。様子見と言われる事が多いと聞くからです。軽くみられがちな味覚嗅覚障害の治療や投薬等をオンラインでも診療してくれる医療機関を作ってもらいたいです。

年齢	期間	
30代	半年以上	医療機関で症状を説明しても理解が得られない。また、フリーランスなので補償がない。
50代	半年以上	関節リウマチと診断され治療費が月に3万かかるので支援があると助かります。
30代	半年以上	看護師と働いておりコロナに感染、労災になりました。コロナ初期医療者は働け！と当時まだよく分からないウイルスの中、家族にうつしたら…と不安を抱えながら働いていました。去年5月、自分がコロナに感染し後遺症になりました。労災ですが復帰の目処がたたず職場に籍を残しておくこと、いつまでも復職できないことがストレスで治療の妨げになると思い退職しました。医療者が仕事で後遺症になっても、何も支援なし。なんだか都合よく使われた感じがしてしまいます。今も疲労感や倦怠感、ブレインフォグがあります。日常生活も満足に送れず看護師として働く目処がたちません。誰かのためと思いながらしていた仕事が、好きだった仕事ができなくなるかもしれない不安があります。とても悔しいです。看護師にならなければ、コロナの時に辞めてたらよかった？と思います。働きたいのに働けず。労災ですがいただいているお金はもちろん下がってます。だけど固定の消費は変わりません。でも世帯年収下がってます。ただ、「世帯主のご主人の収入があるので」と何の免除も受けられません。労災で診てくれる病院も少なく治療に困ってます。
30代	半年以上	失業したまま治療が長引いており経済負担は大きいです。また後遺症に理解を示し積極的に治療が出来る医療機関が限られており体調の悪い中6時間、8時間待ってやっと診察という事も珍しくありません。後遺症外来の拡充をお願いします。
40代	1か月～3か月	流行期にはすぐに発熱外来に繋がれない事、療養中に他の疾病が出て医療に繋がれない事は改善して欲しいです。
40代	3か月～半年	傷病手当の延長
10歳未満	半年以上	コロナ療養が終われば後遺症は自費。広島は小学生までしか子ども医療費が出ない(中学生からは入院のみ)なので、経済的に厳しい。うちは子ども医療費があったから助かった、、
40代	1年以上	医療費の負担が大きく、傷病手当の支援金だけでは足りない。また傷病手当の支給期間を過ぎたら生活出来ず、生活保護になるしかない。
20代	1年以上	医療費が毎月結構な金額がかかるので、健康保険の負担を1～2割にしてくださったりすると助かります。後遺症を診てくれる病院が少ない。
40代	1年以上	・後遺症の存在を認めなかったり、軽視等して鼻で笑うような医師が何人もおり、後遺症の診療をしてくださる病院の予約に行きつくまでにかなりのダメージを受けたり時間・衰えた体力を無駄にしたりしてしまうこと。 ・後遺症を治療してくれる病院・医師がとても少なく、予約しても数か月待ちになってしまうこと。
40代	半年以上	傷病手当金の受給期間が終了しても、症状が寛解しなければ収入がゼロになります。貯蓄を取り崩すほかなく、1年以上就業できないような病状の場合は障害年金などの生活支援がほしいです。
20代	1か月～3か月	後遺症患者の治療費支援を行ってほしい。自費負担はあまりにも負担が大きすぎる。感染したくてなったわけではない。
10代	半年以上	70万円プラスサプリ代など20万円かけています。まだ継続です。破産します。

年齢	期間	
40代	半年以上	<p>まだ分からないことだらけだからだと思うが、病院によって対応が全然違う。          労災で症状固定にするタイミングもバラバラ。          私自身も通っていた病院で症状固定にされ、体調も全く良くなっていないのに労災も打ち切られそうです。          死ねと言われているのも同然。          後遺症が診られる病院になっても、内容はお粗末。          しっかりとした治療が受けられる病院が増えることと、症状固定に対してもすぐにしなれと言った様な基準を作って欲しい。          あと、治療費が莫大にかかっている方も大勢いる様なのでそれを補助してくれる様な仕組みも必要。</p>
30代	半年以上	<p>後遺症や慢性疲労症候群を知らない先生が多く、検査では異常が出ないため(慢性疲労症候群はまだバイオマーカーがありません)心療内科に行けと言われてたり、動かないから治らなれと怒られたりしました。          日本以外でも、後遺症から慢性疲労症候群に近い状態になってしまっている人が多いです。          そのことをもっと周知し、地域の病院で診てもらえるようになってほしいと思います。</p>
50代	1年以上	3割負担がきつい
20代	1年以上	<p>7-2に記載させていただきました。すみません。          体調が優れず、大変恐れ入りますが、そちらをご高覧いただけますと幸いです。</p> <p>また別の点として、いまだに医師の知識や情報、治療には大きな差があります。          後遺症の大きな特徴としてPEM(労さ後の症状悪化)などがあり、そもそも病院を受診することが大きなハードルです。また、通院で体調が悪化してしまうこともあります。          後遺症外来をかかっている病院でも、後遺症に対する知識や理解がほとんどないところもあるようで、患者は自分でSNSなどで情報を集めて手探りで治療を探している状況です。          医師の知識や認識、理解不足の問題も大きく改善が必要であるのではないかと強く感じます。</p>
10歳未満	1か月以内	回復した後、登校できず学習に遅れがでた。オンライン授業をしてほしい。
30代	半年以上	<p>コロナ後遺症によって、仕事を辞めなければならなくなった方への援助、または支援が必要である。          退職した後も後遺症に悩み、病院代ばかり必要となりまともな生活はおろか療養にも影響が出ます。</p>
60代	1年以上	医療費の助成、および、収入がないことによる困窮に対して助成して欲しいです。
30代	1か月以内	自宅待機・療養を命じるのなら、日数分の賃金などの保証すべき。
40代	3か月～半年	<p>これという治療法がないこと。鍼治療が効いてきているが保険診療ではないため、経済的負担がかかる。          後遺症の存在が都市伝説レベルの他人事のように思っている人が多く、職場含め理解が広まらない。自分一人ではなかなか周囲に理解してもらおうのが大変。</p>
10歳未満	1か月～3か月	子どもの後遺症で受信できる場所がなかった
50代	1か月～3か月	<p>漢方薬がコロナに効くと言われているので漢方薬を購入したが、かなりの金額で、複数の病院にかかったのが医療費もかかった。          既に、生命保険の保険金は降りない。          罹患した時期がズれて、損した気分。</p>

年齢	期間	
30代	半年以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明らかな後遺症症状があるのにかかりつけ医等が診断書を書いてくれず、症状が辛い中仕事を続けていて回復が遅れた。診断書が得られる病院がなく病院選びに大変苦労した。また後遺症外来はどこも数ヶ月先まで予約がいっぱいというところが多く、今みて欲しいのにすぐに医療にアクセスすることが困難だった。→どの病院でもきちんと患者を見、治療し、必要であれば診断書を書いてもらえる体制を作って欲しい。医師の後遺症への理解を深めて欲しい。</li> <li>・治療薬もなく、試し試して服薬を続けている状態。→治療薬の開発を進めて欲しい。</li> <li>・医療費、特に鍼灸費が経済的に辛い。</li> <li>・現在休職中で傷病手当受給中だが休職期限までに寛解しなければ、退職となり無収入になるので、今後の生活がとても不安。</li> </ul>
10代	1年以上	近隣医療機関で快く診てもらえない
40代	1年以上	<p>経済的支援も提出する書類が多かったり、事細かく記入したりと後遺症で辛い時に準備をしなければいけないことがとても大変。</p> <p>いつから働けるようになるのか分からないので一時的な支援では全く足りない。</p> <p>今の傷病手当や失業保険が切れてしまったらあとは生活保護しか対策がないのは不安。</p>
40代	1年以上	現在は休職中のため傷病手当を受けて生活していますが、その手当も今年の5月末で切れます。その後の生活保証がされないため不安を感じています。
40代	1年以上	<p>家は自家用車がないため、バスや電車、タクシーを使います。歩きすぎは強い倦怠感を引き起こす恐れがあるからです。そのため交通費がかかります。病院に行くのは体力もお金も消耗するのです。病院も診てくれるのは限られた所しかない。また対処療法であるため、傷病手当の受給期間に治る補償もありません。私はもうすぐ受給も終わります。</p> <p>貯蓄もないし、復職したとしても収入が恐らく減るので、安心して生活する事も治療を継続する事も出来ません。障害年金の申請も恐らく通らない。健康な時の様には出来ない。どうやって生きていけばいいのか、わかりません。</p>
30代	半年以上	会社の欠勤1年間の給与補償
10代	1年以上	家計にかなりの負担がある。ワクチン被害救済申請を行っているが申請の結果も何年も先と言われ絶望している
40代	半年以上	治療費が高額。仕事を減らすと治療費が捻出できなくなる、悪循環。
40代	1年以上	後遺症外来が近くにないので通院が出来ない 支援の手続きが難しい
40代	1年以上	とにかく理解がないこと。温度差が激しい。知人で辛くて自死した方もいます。
30代	1か月～3か月	<p>治療以前にまずもって、医者がコロナ後遺症を理解していません。私は代官山という決して乏しくない立地の医師に「ウイルスの後遺症が長引くなんて考えられない。それは精神的なものですよ。愛犬が亡くなって2年休職する人もいますよね？休職しているのはそういう人たちですよ。大体、人間1度打撃喰らったら元に戻るなんてないんですよ。車だってそうですよね？一度ぶつかれば修理に出しても完全に戻るなんてないですよ？皆んなそうやって生活してるんですよ。(仕事に行けていないといっても)あなたの会社がそれでよしとしているならいいんじゃないですか？(私は会社員ではありません)」と散々暴言を吐かれて泣きました。治療どころの話ではありません。それもコロナ禍が始まった初期の頃ではなく、つい2ヶ月前の話です。可能ならば是正勧告して頂きたいです。</p> <p>代官山パークサイドクリニックの院長です。</p>
10代	3か月～半年	<p>後遺症について治療できる知識のある先生が少ない。また、出来れば治療したくないと思われる。たらい回しにされる事例が多くあります。また、治療費や交通費、検査費等はとてもかかります。</p> <p>そのため、十分に治療にかかれぬ方も多くいらっしゃると思います。</p>

年齢	期間	
40代	1か月～3か月	後遺症も死者もまだ多いのに早々と結論付けて5類にしたら治療費や配食、ホテル隔離がなくなる等、安心できない。
30代	半年以上	後遺症への理解、報道(身近に症状のある人がいないと、かなり無理解であり、体動かせば治るよ、と言われ苦しんだ)
40代	半年以上	後遺症外来を受診しましたが、投薬等の実質的治療はありませんでした。未知の疾患のため、医師も打ち手がないのだと思います。コロナ後遺症の原因と治療法の研究が進まない、なかなか対応する医師も増えていかないと思います。 重症者は寝たきりかそれに近い状態ですし、コロナ後遺症は僅かな負荷で悪化するため、公共交通機関を使っただけの通院が難しいです。介護タクシーか、短距離の場合でもタクシーで通院せざるを得ず、医療費よりも交通費の支出が大変な負担になっています。
10歳未満	半年以上	コロナ後遺症を見てくれる病院が私の住む群馬県にはあまりありません。かかりつけ医に行ってはいますが「コロナ後遺症」とは診断名が付いていない状況の中、整腸剤や漢方薬などで凌いでいる感じですが、親切に聞いてくださっています。
40代	半年以上	お仕事に行けなくなってしまった方とか、支援が必要な人は多くいると思います。
30代	3か月～半年	後遺症の診断がなかなか出ないこと
40代	半年以上	休職により収入がほとんど無くなったことです。いまは貯金を切り崩して生活していますが、あと数ヶ月で底をついてしまいます。復職も目処も立たず、不安だらけです。
40代	半年以上	これだけ病院が溢れかえっているのにコロナ後遺症を診る医療機関が皆無。
30代	1年以上	後遺症をまず認めてほしい。医療費がとんでもなく自己負担がでかくて大変だった
40代	3か月～半年	療養中に必要な支援がない(医療費、生活費、労災申請に職場が非協力的)
20代	1か月～3か月	1.情報が少ない。自分で役に立つ情報(心ある医者の情報中心)を探し少しでも効きそうなものを試まくっている。自分は軽いかつそういうことに興味がある方なのでまだ負担は少ないが高齢の親とかに自分で探せというのは酷。2.とにかく金がかかる。自費で市販の漢方、サプリを中心にという形で対処をしているが高い。しかもいつまでこれが続くか不安
10歳未満	1か月～3か月	市内では診てくれる医者がいなかったため、高速で1時間かかる大学病院を紹介してもらい、筋肉も落ちてしまったのでリハビリをうけ歩けるようになったが、それ以前ほどの医者も「たぶん後遺症かもしれないけど断定はできない」しか言わないので、もっといろんな症状があることを知ってほしい。
50代	半年以上	近隣の医院に電話するとできることはないと言われました。隣県まで通っています。また、鍼治療も行っていますが、もうお金が尽きるので途中でやめます。
40代	半年以上	私は幸運にも労災申請ができ、おりたけど、殆どの人はそれすら体力的に出来ない
10代	3か月～半年	自主休校をしたが、放置されている。孤立を感じる。
20代	半年以上	地方であり後遺症を見てくださる病院が少なかった。でもみてくださった病院の先生はじめスタッフの方々には感謝です。
50代	1年以上	外来通院できるだけの体力がなく、オンライン診療のみで治療を受けているため、治療の選択肢がない。 自宅療養の長期化で経済的に厳しくなっている。

年齢	期間	
80代以上	1か月～3か月	高齢で術後に罹患したため、術後せん妄や認知症とみなされている感を受けました。医師と話し合いの上、投薬はせず、毎日オンライン面会という形での介入をしたところ、顔色も良くなり、声に張りが出て、会話もスムーズに出来るようになり、よく笑うようになりました。ただ1点、罹患中の記憶がないことを除いて。家族のフォローの大切さを認め、介入したことに感謝の言葉を頂きましたが、頼み込んでやっとか…という不便さを感じました。
50代	1年以上	私は現在、慢性疲労症候群と線維筋痛症、その他の複数の病を発症しましたが、公的支援に繋がるために医療機関探しから、申請書類の作成にいたるまで、大変な労力が要りました。そのせいで病状は悪化の一途を辿りました。障害者手帳も半年前に申請しましたが、未だに審議中で発行されていません。本当に困っている、死の淵にいる人々の現状に目を向けて、合理的な配慮を持って、速やかに支援にしていきたいです。
40代	半年以上	効果的な薬がないため、複数の病院を受診することになり医療費が沢山かかる。休職、退職する人も多いので、医療費の支援、経済的支援をお願いしたい。
50代	半年以上	漢方薬やサプリ、鍼灸などしか治療方法がなく保険が利かない為、半年で100万近くかかった その間、失業した為貯金を切り崩して賄い大変厳しい
40代	半年以上	傷病手当が出る期間が終了しても寛解しなければ、どうやって生活していけばいいのか不安。その後も何か金銭的な支援が欲しい
30代	1年以上	治る見込みもなく、これからの生活の目処が立たなくてとても不安です。まず正しい情報の周知と、給付金などの経済支援が必要だと思います。
30代	1か月以内	色々検査するのに保険適用であっても高額が必要なこと、後遺症外来が近場に全くないため、受診できていない。
60代	1年以上	後遺症に対する社会も無知無理解が大きい。職を奪われれば治療も生活も成立しない。やがて生活保護を受ける事になり、国のお金が飛ぶ事を考えて欲しい。
40代	1か月以内	自営業は休業保障がない。雇用者は給料の保障(傷病手当等)があるが、自営業だとそれもない上に生活費や従業員の給料などがかなり厳しくなる。コロナ休業保障は、特に個人自営業者にこそつけてほしい。
40代	半年以上	薬が1週間ずつしか処方されない為毎週通院しなければいけない。 全身痛や倦怠感があるのに毎週通院は辛い毎週診察を受けるから病院代、薬代がとてもかかる。薬を1ヶ月分処方してほしいし3割負担を1割負担くらいにしてほしい。
40代	1年以上	経済的に支援が一切なく苦しい状態。治療費、サプリ代、年間50万以上。収入が0なので医療控除も受けれず。 傷病手当は税金で持っていかれるため生活くるしく。寝たきりになっても若いため支援は一切受けれず。病院にもいけない苦しい日々が続くが訪問診療してもらっても後遺症に無知な医者ばかりでした。相談窓口がないか調べてもどこに電話するにもたらい回しにされただけ。多面に渡り後遺症患者に早期支援をお願いしたい。  後遺症を理解ある社会にしてもらいたい。
40代	半年以上	転職して2ヶ月程でコロナ感染からの後遺症で傷病手当が適用されるか分かりません。本当に貯金もなくて来月の家賃も払えないのでどうしたら良いか悩んでいます。
30代	1年以上	コロナ後遺症の治療が出来る病院がありません。 働けなくなってしまったので経済的な支援があると助かります。

年齢	期間	
10代	3か月～半年	自治体の後遺症相談窓口連絡しても、具体的な指示や援助はほぼ受けられない 自力で情報を探していると素人の私のほうがよっぽど後遺症について分かっているのはなんだかなあと思う なんのための相談窓口だよと。
20代	3か月～半年	周りや職場の理解、決して気持ちの問題ではないこと。 生活の保護は大前提として、後遺症の原因を究明し迅速に治療法を定めそれを国として研究機関や医療機関、患者への支援を求める
20代	半年以上	原因がわからず治療方法がないこと。
50代	1年以上	保険診療で後遺症を診てくれる医療機関が少なすぎます。既存の検査で何も異常が見つからないのが特徴の病気なのに、検査で異常がなければ問題なし、治療も無し、と放り出されたらなす術がありません。不便どころの話ではありません。
30代	1年以上	ブレインフォグで頭が働かない今、簡単な書類作業や役場での手続きも難しい。支援へ辿り着くまでの道程がシンプルであれば有難い。
30代	半年以上	せめて公費など一部の負担で良いので国や県から、市町村からも治療費援助をして欲しいです。また、会社側も後遺症患者について失業などを迫らないで欲しいです。焦るばかりで心が苦しいです。 医療機関へ受診する際の交通費も往復でかなりかかります。 食欲不振の原因は不明と言われ、内視鏡を行い、精神科に行けと言われ、採血検査などもせず、受診した医療機関ではEATのみいきなりされ、血だらけになりました。翌日は動けず寝たきりになりました。 知識があるようでまるでない医療機関が後遺症外来を行っているように思います。それを神奈川県はホームページに載せているのです。 後遺症患者として思うのは、どうしたら症状が少しでも楽になるのか、それを多く発信して欲しいです。医療現場で働いているのに後遺症については上司含め医療機関やそれに従事する派遣会社などは理解はありません。 各企業に後遺症について発信して欲しいです。  後遺症外来を行っている医師の中に平畑先生という方がおります。 鍼灸の野崎先生という方もいらっしゃいます。 その先生方は日々後遺症患者を診ておられます。 政府としてもこのように一生懸命診て下さる医師のバックアップをして欲しいです。
30代	3か月～半年	医師の大半が後遺症を理解していないので、病院に通っても効かない薬を出されたり、匙を投げられて絶望することがあります。もっと理解が進んでほしいです。
40代	1か月～3か月	治療の研究が不十分なので、有効治療が見つからない状態だ。早急に改善が必要だと思う。 後遺症治療の診察報酬が安いのも問題があると思う。
50代	1か月～3か月	自家用車で休日当番医が対応してくれていたが移動手段が公共交通機関の場合は徒歩で受診しなければならないと先伸ばしになるや重症化してしまう危険があると思います ドラッグストアで抗原検査をし陰性でも数時間後にPCR検査で陽性でした(子ども) 検査は全てPCR検査にして欲しいです
40代	半年以上	発熱や倦怠感強く、たびたび仕事を休んでしまっている。複数の医療機関受診しており、医療費の負担大。補助制度を設けてほしい。
30代	半年以上	検査にお金がかかりすぎるし、通院、処方箋も長く続けば続ほど出費はかさみます。

年齢	期間	
30代	3か月～半年	<p>どんな経済的支援があるのかかなり分かりづらい。          労災はかなり申請までかなり煩雑な事務処理が必要だが、ブレインフォグがあり処理しきれない。          仕事復帰は徐々にしなければならず、週数日の仕事から再開となる。          数日でも働いているため給料が発生する(週数日しか働けないためかなり少額)ことから、傷病手当などのお金がいただけなくなる。          つまり、働いた方がお金がもらえないという状況になるため、受診継続で後遺症になる前よりお金が必要なのに、金銭的に厳しい状況になる。</p>
20代	半年以上	<p>明確な治療法がない為、様々な症状が出た時、除外検査が必須になる。また、東洋医学も良いとされているが、保険適用外の為お金がかかりすぎる</p>
40代	半年以上	<p>ツイッター等で、首になり働けない、傷病手当等もない人がいらっやる。それに対し何の支援も無いのは、死ねと言っているようなもの。生活保護を受ければ良いと思っっているのか?狂気の沙汰としか思えない。</p> <p>残念ながら、コロナ後遺症は存在せず、気持ちの持ちようとか、怠けているといった酷い対応をする人が一定数いる。政府がコロナ後遺症を認め真摯に対応することで改善して欲しいと切に願う。</p>
20代	1か月～3か月	仕事を休んだ時の支援
30代	半年以上	<p>治せる治療院がほぼない。後遺症外来ですら、間違った治療をしていることが多い。後遺症患者はみんな手探り状態です。          私は半年ブレインフォグで悩みましたが、東京から大阪のとある病院に行き治りました。          今のところブレインフォグが治せる病院はそこしかありません。          後遺症外来同士で情報を共有し、早急に症状別の治療法をどの病院でも受けられるよう確立していくべきです。</p>
40代	半年以上	<p>Twitterをみてください。          困窮して希望を失って自殺する方もいます。          経済的支援、お金が支給されるのも遅くて生活が大変です。</p>
40代		<p>後遺症については治療も確立されておらず、効果のある治療に辿り着くまでの診療代や薬代が高いため、支援が必要だと思います。          私の場合は、ヒラハタクリニックのネットでの発信を参考にいくつかの病院や鍼灸院を調べて問い合わせ、受診し、並行していくつかの漢方薬を試しながら、ようやく今の治療に辿り着き、かなり回復しました。ただ、それでも薬を飲み忘れると喉の痛みや咳といった症状が出るため、継続的な負担があります。</p>
30代	1か月～3か月	地方に住んでいると後遺症外来がない、対処療法でしのいでいる
40代	1年以上	後遺症など無いという言説をメディアに出ている人間がすることで後遺症そのものを懐疑的に捉えてバカにする人がいること
40代	半年以上	治療法、治療薬なんでも良い。希望が欲しい。
40代	半年以上	学校感染が原因で、そもそも感染しない具体的な対策が何もなされない現場や自治体、国の方針に不満です。感染者が出た学級の検査も何故やめたのか。
40代	1か月～3か月	医療費もそうですが、そもそも対処法が見つかっていないので、一刻も早い研究と対策を！！
40代	1年以上	仕事が出来ないので、経済的支援を求めます。 さらに、一日でも早い治療法開発を求めます。

年齢	期間	
30代	1年以上	後遺症の場合は無理をすると悪化してしまうので、復職できても職場からの適切な配慮が絶対に必要になります 私を知る中で後遺症が寛解しても完治したという人は聞いたことがありません 復職しても必ずどこか後遺症症状の体調不良がありながらの労働になっているはず
50代	半年以上	保険医療では改善せず、民間治療に通っている。医療費がとてがかかって困っている、
40代	半年以上	社協に頼ったが、担当者2名は後遺症を理解してなくて暴言、家族の分裂を促されたまもなく失業ですが傷病手当が、もらえなくなる間違ったアナウンスされた。 そのやりとりで、脳疲労を起こし 病状悪化したが、訴えも対応は 変わらなかった。
30代	1年以上	後遺症に効く治療法が確立して欲しいです。自分に合うものを自分で探すことが大変でした。後遺症で光過敏にもなり携帯を見ることも辛かったので。 経済的支援は絶対に必要だと思います。休職中の手当や、後遺症になった間の手当を出して欲しいです。
10歳未満	3か月～半年	治療費の支援をお願いしたいです。また、こどもが後遺症で園に通えない間の給食費は免除にしていきたいです。
30代	1年以上	医師の知識、理解不足。鍼灸や漢方といった現状有効と考えられる治療が自費診療で負担が大きいこと。
10歳未満	1年以上	こどもの後遺症は病院でもなかなか認知がされておらず、先生も熱心に診てくださらないので治りも遅く、とても大変です。
50代	1年以上	長くなってきていつまで労災が受けられるか不安です。復職できるか不安。
10代	1年以上	自費治療の漢方と鍼灸(医療費控除も無し)が一番きいています。月5万円程度かかっています。高すぎていつまで続くのか不安です。私自身も看病しながらいつまで仕事を続けられるか、不安です。
50代	1年以上	どこに相談すればいいのか全く情報がない
20代	1年以上	最もコロナ後遺症に有効と言われる鍼治療が保険適用にならず、自費診療になること。
30代	1年以上	恐らく私と同じように、初期の頃にPCR検査を受けられずに苦しんでいる人が沢山いるかと思っています。多くの人のデータを集めて、特徴的な血液の数値等で新型コロナの後遺症だとわかるようになると幸いです。  私の周り(Twitter上)の後遺症の方の血液検査の結果で特徴的だったのは、皆総じてリンパ球の数値が減り、好中球の数値が上がるというパターンが非常に多かったです。 (病院では異常はない数値と言われる) これはワクチン後遺症の方も同じパターンで、恐らくスパイク蛋白が身体に合わない人間は、スパイク蛋白により免疫抑制が起きてしまっている状況だと研究者の方も仰ってありました。
40代	3か月～半年	治療費の一部負担等検討して欲しい
40代	3か月～半年	治療費の負担が大きい。一部だけでもいいので支援して欲しいです。 また療養期間が終わり、退職となった場合に、収入が途絶え、そもそもの日常生活が送れなくなるのが考えるだけで辛いです。 すでにその状況に陥っている方は多いと思います。
20代	半年以上	個人事業主は、経済的補償が何も無いため、死ぬしかないと思いました。治療面においても、コロナ後遺症に理解のある医師がとても少ないため、匙を投げられたこともありました。

年齢	期間	
40代	1年以上	当事者しかわからないと思いますが、音声通話での相談は患者側の手元にログが残らないため、クラッシュで記憶が消えるとまた問い合わせからやり直しになります。横たわって息を切らしながら通話している状態では手でメモをとるのも難しい。希望すればメール等での対応も可能にしてほしいし、将来的には電話を切った後に会話ログの自動書き起こしが(プライバシー情報の部分だけは自動マスキングした状態で)任意登録したメールアドレスやクラウドアカウントに自動送信されてきて欲しい
20代	1年以上	失業手当もない、働けない状況で治療費用だけが重くのしかかります。 長期の後遺症患者には特に金銭支援が必要だと思います。  (コロナ後遺症は半寝たきり状況でも障害年金すら受給が認めづらいとされています。また医師も書類を書きたがらない傾向にあります。)
20代	半年以上	有効な治療法が無いこと、医療費の支援もない。
30代	半年以上	有効な治療法が無く、お金だけ減っていく。
10代	1年以上	病院や鍼灸に行っているのですが、医療費の経済的負担が大変です。経済的支援があったら助かります。県事の病院一覧があれば病院難民にならずに済むと思う。
50代	3か月～半年	仕事をやめると、無保険になるため病院へは行かれない。国民保険料が高額。 私の様に傷病者手当が直に入らないので経済的に本当苦しい。ここ1か月間我が家にはお米がありません。お金がないので。高校生の娘に頂いた『非常食』をお弁当に持たせたら嫌がられ水や残り少ないお米をかき集めおにぎりのみお弁当に持たせています。 国から防衛費に使うお金があるなら、国民へ1人15万配布してほしい。
50代	半年以上	治療方法が基本的にないこと
20代	半年以上	後遺症を熱心に診てもらえる病院が少ないです。熱心な病院には患者が押し寄せ、6時間以上の診察待ちとなります。その為、後遺症治療の知見を広め、後遺症外来を行う病院を増やすような支援をしてほしいです。 また、治療には鍼灸も良いとされており、私自身も鍼灸でブレインフォグが改善されました。ですが、鍼灸は自由診療の為医療費が高つくきます。ただでさえ、休職中で金銭的な不安が大きいです。なので、後遺症治療として鍼灸の施術を行う場合、保険適用としていただきたいです。
50代	1年以上	傷病手当の扶養家族が入れない
30代	1か月～3か月	9のその他→金銭的な支援はなかったが、シフトは最大限の配慮をしてもらえたことで、勤務日数を減らして復職できた。本当にラッキーだったと思う。 治療で不便なこと→近くに後遺症をちゃんとみれる病院がない、県や市の相談窓口もない(三重県です)、とにかく手探りで病院に通い、事情説明して、現在は対症療法でしのいでいる。 経済的支援→私は幸い主人も働いてくれており、経済的に困窮することはなかったが、SNS等を見ると退職を余儀なくされたり、主婦の方でも子どもの面倒が見れず辛い思いをしている方がたくさん見えます。経済的支援をして欲しいですし、子育て世代の支援もして欲しいです。
30代	1か月以内	受診したら隔離期間があるのが不便。
40代	半年以上	月に1度診察を受けているが、改善には繋がらずただ傷病手当の書類を書いてもらうために行っているような状態です。有効そうな治療法あれば試したいが、特に提案は無い。食事の用意が出来ないことがあったりするので食費が普段よりかかるし、傷病手当貰っているが給料よりは減額されているので生活がキツイのを何とかして欲しい。

年齢	期間	
20代	1年以上	専門外来のある県外の病院に受診してました。地元では診て貰えずオンライン診療を受けている方も多いです。一般内科や心療内科では理解されないことも多い。各都道府県に1件でも、後遺症の人はここに行けばいいよ、うちに来ればいいよと専門で受け入れてくれる所があればなあと思いました。
40代	半年以上	西洋医学はほぼ効かないので、自費の鍼灸だの整体だのカイロプラクティックだのに行くしかないのに、保険きかないからお金が困る。そして歩けないのに通院タクシー代も全額自費で、休職で収入減ってるのに、もうお金がどうしようもない。せめてタクシー代だけでも割引制度が欲しい。
20代	1年以上	労災を申請してから振り込みまで長期間要すること。後遺症を理解して治療に当たってくれる病院が少なく、片道1時間かけて通院していること。
40代	半年以上	もっと積極的に取り組んでほしい 治すには無理をしないことがよいとされていますが、生活のため働かなくてはなりません補助があったら安心して治せるのと思います 実際本当に大変な状況です
50代	1年以上	北海道東部、標津町周辺では未だ多くの病院、特に基幹病院で受診拒否が続いており、後遺症から移行したME/CFSへの理解もない。受診して医師の意見書が得られなければ、福祉の利用や障害者手帳なども得られない。夫の傷病手当と障害年金でどうにかやっているが、自由業だと何も無い。
40代	半年以上	保険診療以外に、鍼や自費の漢方外来など治療費にかなりかかるので、治療費を助成してもらいたい。他国に比べ後遺症の研究に費やす費用なども少なすぎるので、どうかお願いしたい。
10代	1年以上	コロナ後遺症の治療は、現在 自費検査や、自費治療でしています。先月母子で10万越えました。保険診療では一般検査→コロナ後遺症は治せない→診察打ちきり、と言われる病院が多いのが現実でした。 医療補助は必要です。 日常(仕事や学校)が奪われ、原因や治療はわからずと言われ、支援はない。 これがコロナ後遺症の患者を症状とは別に苦しめる社会的要素です。
40代	半年以上	後遺症外来を増やしてほしい。東京から電車で1時間ほどの首都圏の自治体でも、市内に1箇所しか後遺症外来がありません。
50代	半年以上	基礎疾患多数で通院してますがワクチンの事は言えません 自分で必要なサプリ等を購入してます 病院代以外に出費がかなりかかっています ワクチン後遺症を言いやすい病院体制にして欲しい
20代	1年以上	後遺症に理解のある医療機関が少なく、病院を転々とした。また、そんなのあるはずがないと医師に言われたこともある。理解のある医師もいるが、病院を新しく受診するのが怖い。
50代	3か月～半年	半年で治療費は30万円を超えたのに、なんの支援もない。近くで後遺症を診てくれる病院がなく、診てくれる所は3ヶ月に1回でこまめな治療をしてもらえない。
30代	3か月～半年	治療院が都内、遠方にしかなく通えない 患者が集中して受信が困難
40代	1年以上	ワクチンの薬害の研究と早期治療法確立。摂取の一時停止
40代	1年以上	治療代は保険診療内ではありますが長期になるので医療費の負担がキツイ。
10代	半年以上	医療サポート、経済的サポートが必要

年齢	期間	
30代	半年以上	受診するにあたり、補助があればいいです。コロナにかかるまでは手厚い補助(ワクチン無料や国民一人一人に給付金)があるのに、後遺症になってしまった人には、ほっとらかしだと思います。
10代	1か月～3か月	病院ではやってもらえることがなく、結局自費で接骨院の施術や漢方薬局の漢方を利用し週に15000円かかっている。 いつまで継続できるかわからない。 早急に何かしらの支援が必要。
50代	1年以上	とくに、漢方薬はどれが身体に合うのか試す期間が多い。コロナ後遺症外来だけでは改善できない。精神科や耳鼻咽喉科などにいくと疲れてしまう。交通費がかかる。
30代	半年以上	歯科医師国保はコロナ後遺症が傷病手当金の対象にならない事。
10代	半年以上	病院は何もできないことがないと、後遺症を見てもらえないことが多かった。やっと6軒目で見てもらえる病院に繋がった。効果もない漢方薬など東洋医学も楽にみれない医師の漢方処方ほど無駄なものはない。医療費の無駄とさえ思えた。  また、東洋医学は、保険診療も低く見れば見るほど赤字だと感じた。 後遺症診断は時間がかかるので
40代	1か月以内	そもそも家族の発熱時休まなければいけないなどで昨年有給を使い切った所に今回のコロナ→コロナ後遺症でした。  コロナ後遺症では医師の診断が必要…なのに診察してくれる病院が見つからず、会社を欠勤し無給の状態でも身体もですが、金銭面でも死にそうです。 傷病手当がでたとしてもコロナ後遺症は自己負担で治療費を払わなければならない不安です。  5類になる流れから会社も社会も「ただの風邪に大袈裟」という感じがします。
20代	半年以上	コロナ後遺症外来が少ない。 そして、コロナ後遺症などないと言い張る医師の方がまだ沢山いるということ。
20代	半年以上	世間への認知が圧倒的に足りておらず誰にも理解されない。医者すら後遺症の存在について知らない人がいる。本当にお金がないので受けられる治療が限定的。通わないといけなかつ自由診療の治療(鍼など)は大変。
50代	1年以上	医療体制が整っていない、治療方法が確立していないため、患者は様々な検査にあちこち足を運んだり、痛みの改善に整体や鍼を利用するため、経済的に大変苦しい。私は収入が減る中、月四万ぐらいかけ続けていた。今は経済的に鍼を我慢しているが、去年は血流悪化で寝たきりの時も増え情けない気持ちだった。 若かったり、車や家など資産があっても生活保護などが取りやすい臨時体制をひいてほしい。治療方法が確立すれば、働きたいという人はたくさんいる。1人暮らしや高齢の親に面倒みてもらっている人は本当に大変そう。
30代	1年以上	自費診療も多く、経済的支援、治療費支援、生活費援助はなくてはならないと思います。
40代	1か月以内	味覚障害程度で仕事の補償を国がしてたら みんな頭痛で仕事サボれますよ。一生懸命働いてる人からこれ以上搾取せず 任意保険に入れば良い。ただでさえ任意保険で儲かった人もいるでしょうし。
40代	1年以上	対症療法しかなく完治させる手段がなく、いつまで症状が続くのか不透明で不安になる。後遺症治療への公的助成がほしい。

年齢	期間	
30代	1年以上	検査をしても異常がない。病院へ行っても検査ばかりで異常や治療の仕方がわからずたらい回し。
40代	1年以上	生活保護受けていますが、今の基準では、生活がカツカツで、食事作るにしても、食料品が高いので、成るべく食べない選択しているからか 身体の栄養がバランス崩してしまい、抵抗力も下げたかなと感じています。
40代	1か月以内	高熱と息苦しさを何日も苦しんだのでしっかり7～10日は休めるようにしてほしい。
30代	1年以上	・後遺症の支援に対して自治体の格差があり過ぎる。 ・後遺症に対応できる病院が少ない、対応できる病院に患者が殺到しているため病院側も厳しい状況が続いている。 ・上記の理由で現在利用できる各種補償を受けるための医師の証明を得ることが困難になっている。 ・後遺症から回復し、社会へ復帰する際の支援がほぼない。 ・厚生労働省から通達されているコロナ関連の特別な制度について市役所職員など公的な業務についている方々に相談した際、そもそも職員が制度を知らないというケースが多かった。
50代	1年以上	医療体制の確立が必要。
50代	1年以上	労災認定まで10か月。問合せしても県内ではあなた1人だけだからわからないと言われる。国の期間なのにあなただけなはずはないのに。コロナ感染とコロナ後遺症の因果関係を調査中です。と言われる。1年半経って治らないのはこれ以上治療しても治らないから治療費は自費にと一方的に医者に文書を送付している(主治医が直接労基署に文書を送付して補償継続になりました)仕事とわかっていますが言いわけしないで早急な対応をお願いしたい。 労基署も違法ですねと言われて体調悪くて動けないなら良くなってから弁護士探して自分でやると言われるのは労基法の存在する意味は何なのかわからない。  1人暮らしで半寝たきりなのでヘルパーさんの相談を市役所にしたら家族に相談してと言われた(家族に頼れないからしてるのに)  労災だと医療費は無料だと思われているけどもコロナ後遺症は205種類以上の症状があります。次々と別の症状が出るので通院する病院が増えます。ですが全部を労基署が認めてくれるわけではないので医療費に家計が圧迫されています。
10代	3か月～半年	在住の市では親の収入が子供の医療費控除の対象外であるため、支払いが発生する。後遺症と診断されるためには、他の疾患がないかたくさん検査が必要となるため、医療費がかさむ。漢方薬では改善が見られない部分が大きく、鍼に通ったりと自費診療に頼らざる負えない。親は通院などのために仕事を休まなければならない。
20代	1年以上	傷病手当も1年半いただけでしたが、いまだ、働くのは難しい状態。 今後の生活が本当に心配です
50代	1年以上	地元で有効な治療ができる病院がない。後遺症外来でも治療法を持ち合わせていない医療機関がある。体力的に通院もままならない。傷病手当が切れた後の経済的支援がない。
30代	1年以上	傷病手当は治療費は自己負担で給料の3/2しか受け取れないで治療費、生活をしなければならぬ事
30代	半年以上	11の回答参照
40代	1か月～3か月	検査の拡充。医療機関の現場に即した公的支援。受診者への公的支援。学校園の設備拡充。
30代	1か月～3か月	後遺症に対しても医療費の補助が必要だと思います。

年齢	期間	
40代	1年以上	毎月の治療費が高額になる
60代	半年以上	複数の病院で様々な検査等を受けてきたので経済的にも困っています。一時入院した時は高額医療費の申請をしましたが、外来で払った医療費は合算されない為どうすれば良いのかわからず申請出来ていません。病院が変わっても一月にかかった医療費の合計を控除して欲しいです。
40代	1か月～3か月	休職はもちろん休職手当(傷病手当+αが望ましい) コロナ後遺症の公費助成ももちろんあった方がよい
50代	1年以上	傷病手当と失業保険が切れた今、金銭的に困っています。診て下さったのはヒラハタクリニックだけで、最初の2回は死ぬ思いで関西から行きました。それからはオンライン診療ですが、受診者が多くてなかなか診察してもらえません。また、慢性疲労症候群に移行しましたが、数少ない専門医は西日本の学派は典型的な症状でしか鑑定してくれず、これがとても厳しい条件で診て下さいません。大学病院へはあるクリニックでの紹介状必須ですが、そこでその医師の気分ではねられます。そうするとどこも診て下さいません。おかしなシステムです。大阪のコロナ相談センターで紹介された幾つかのクリニックは数ヶ月待ちだったり、症状のある科を1つ1つたらい回しだったり診察の意味がありません。お金もかかりますし。
20代	1か月～3か月	ある
30代	1年以上	労災であったため治療費や休業補償が受けられたことは幸いだったが、労災認定までは時間がかかり、しかも最初の相談の時(2021年3月)はコロナ後遺症が労基署担当に認知されておらず、門前払いのような扱いを受けた。しかし、今後必ずコロナ後遺症の相談が増えるはずだから記録しておいてくれと依頼し、担当も、部内で共有すると回答。 3か月たつてあらためて相談すると担当者が替わっていて、コロナ後遺症であることに理解を示し、そこから認定への手続に進むことができた。渋谷のヒラハタクリニックの平畑院長のインタビュー記事をはじめ膨大な資料と体調記録を送付して、労基署には理解してもらえたと思っている。 他の後遺症患者と連絡を取り合っていて知ったが、全国の労基署でコロナ後遺症の労災認定について、認識や取り扱いに温度差があると思われる。地域によっては理解が進んでいない。  労災ではなかった人は完全に経済的に行き詰まり、家族を抱えた後遺症の稼ぎ手は、貯金が底をついて間もなく生活保護申請をする予定の人もある。 コロナ後遺症は長期にわたる公的支援が必須である。
40代	1年以上	確立された治療法がないのが致命的。医師達の知識不足で後遺症を否定される。基礎年金しか加入しておらず、障害年金2級のハードルが高い。基礎年金3級もつくってほしい。
30代	3か月～半年	コロナ後遺症において、失業保険、健康保険、住民税などの審査基準を優しくして下さい。また障害者認定も行う必要もあります。 寝たきり、半寝たきり状態も大勢いるということを念頭に考えて頂きたいです。
30代	1か月～3か月	後遺症について知っている医師がまだ少ないように感じた。
20代	1か月以内	今思えば後遺症だった。
30代	半年以上	後遺症専門の病院は予約が数ヶ月後になってしまうと言われたため近所の病院に行きました。ですが、症状が複数あるため1つの病院、1人の医師で全ては診察できないと言われ仕事を休み1日に複数の病院を何件も回っています。 経済的にも時間的にも体力的にもとてもつらいです。
10代	3か月～半年	治療方法が不明。いつ治るのかとの不安の戦い。

年齢	期間	
30代	1か月～3か月	後遺症も補償の対象になればもっと通院してもらえそうです。なかなか病院にも生きづらい方がいると思うので、検討してほしいです
40代	3か月～半年	関東に比べて、地方だと医師の理解も曖昧である。後遺症の患者は経済的支援の手続きをとれるほど動く事ができません。
10代	1か月～3か月	訪問治療、後遺症等に知識ある医者や鍼灸師、整体師、他有効な情報の共有と連携。
50代	半年以上	後遺症外来が少ない。 更に玉石混交で、効果不明な治療で高額な治療費を要求するところもある。 後遺症患者は「動けない」ので、なるべく近所の医院で診てもらいたいが、それができない。
30代	1年以上	通院が1人では難しい。 漢方などはオンラインでも処方いただけるが、実際の外来に行った方が適切なものを処方していただけるように感じ、クラッシュ覚悟で通院している。 今のところ家族が連れて行ってくれるが、家族が運転できない場合に、タクシーなどを利用すると金銭的にはかなり負担に思う。
40代	半年以上	傷病手当を頂いていますが、6割しか頂けない為経済的に苦しいです。 もうすぐ傷病手当期間終了になります。 退職になります。無収入になります。 コロナ後遺症で働けない人に支援をして欲しいです。働きたいのに体が動きません。
30代	半年以上	抗原検査で陰性の場合、必ずPCR検査を受けさせてほしいです。低感度の抗原検査で陰性と診断されてしまうと、感染していないことにされてしまい、治療につなげることができなくなってしまいます。
30代	半年以上	医療機関にかかることに負担のない人間はいいが、経済的に余裕のない家庭では治療に消極的にならざるを得ないだろうと考えます。
20代	半年以上	もっとアクセスしやすくなるべき。
30代	半年以上	治療費の無料もしくは減額
20代	半年以上	手取りより少ないため治療に充てられるお金がありません。
40代	半年以上	後遺症とわかるまで4ヶ月程度かかった。まず、後遺症と診断できる病院がない。 昨年末の時点では、高知県では後遺症外来が大学病院のみで、かかりつけ医で2ヶ月診てもらったからの紹介でやっと大学病院の受診となる状態、まずかかりつけ医で後遺症と診断されません。 県外のオンライン診療で後遺症と診断してもらい診てもらってます。
40代	1か月以内	給付金
30代	1か月～3か月	アメリカのように労働人口の激減は実際起きていると思います。時間差はあれどじわじわ日本経済に影響し始めます。物価、光熱費高に伴い生活苦にあえぐ方はもういます。早急に支援するべきです。政治家はそれぞれの国民の現場へ行ってください。実態が分からないなら即刻把握して下さい。
30代	1年以上	労災を申請しようと思っているが、本人はできる状態になく、手続きも煩雑でよくわからなくてまだできないでいる。
10歳未満	半年以上	後遺症について正確な情報公開を

年齢	期間	
50代	3か月～半年	<p>治療費や薬代がかさむ一方 収入は無くなったので 後遺症の皆さんは身体だけでなく 生活苦になっていて 苦しんでいる</p> <p>お金の支援も必要だが 後遺症専門の療養施設の拡充 動けない人の為に無料の家事代行 今後の人生のケアが必要 心のケアも</p>
40代	1年以上	<p>治療、薬剤代がかかる。年間でいくら還付は難しいでしょうか。終わりが無い為。 陽性という証が出せなかった為、民間保険会社も対象にならなかった。</p>
30代	1年以上	<p>社会の理解がない。ワクチン後遺症を否定する医療機関が多くまともな治療が受けられない。</p>
40代	1か月～3か月	<p>全額医療補償</p>
30代	1年以上	<p>長期的な治療になると、無理をしてでも少しでも働かないと生活できない。無理をして働くから症状が悪化する。どんな支援があるかわかりません。支援があっても手続きが複雑だと一人では出来ない程、後遺症は苦しいしんどい。</p>
30代	半年以上	<p>・後遺症外来への通院が難しい(数が少ない) 自力で病院に行くことが出来ない上に、 近くにないので通院自体が無理 ・医師の知識不足 普通のかかりつけ医は精神病だと言う、 後遺症外来の医師は自分の知識外だったり、長引くと自分の手に負えなくなり最終的に精神的なものと言う。 どちらも勉強してなくて信用ならない。 ・治療法が確立されていない どのような治療が、どのような症状の人に、どれだけ効果があるのかなど、精査して公表して欲しい ・会社から天引きされる税金分を遅らせるか保留に出来るようにして欲しい 傷病手当が出ても、そこから引かれるのでほぼ0に近く、まともに貰える様になるのに時間がかかる。 大学病院の傷病手当申請書の発行に3週間ほど時間がかかるため余計に遅い。 ・色々な介助サービスを利用したくても、 生活がギリギリで利用できない</p>
50代	3か月～半年	<p>中学生、高校生、大学生、 学校へ通えなくなった子供達への支援 特に大学生の休学の支援、生活の支援 心のケアがとても必要</p>
30代	半年以上	<p>コロナ後遺症は長引き、治療法もない中、自力で模索しながら、病院に通っているので、自費の医療費が馬鹿になりません。経済的に困窮している方は本当に心もやられて、死にたくなるレベルだと思います。そのような後遺症患者がたくさん出てくると思います。国の救済策を作ってください。</p>
40代	1年以上	<p>東京都が食材を送ってくれるサービスをもっと早く知りたかった。</p>
40代	1年以上	<p>検査抑制期の感染だと証明ができない。傷病手当も1年半では足りない。後遺症外来を掲げる病院でも知識が共有されていない。</p>

年齢	期間	
40代	半年以上	鍼灸やカイロプラティックが自律神経失調症に効果あると聞いて、試したところ効果を感じました。が、保険対象でないため高額で経済的負担が大きいです。漢方薬局の漢方含め保険診療にしてもらいたいです。
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・都のリストに載っていた後遺症対応の病院に行きましたが、医師も何をしたら良いかわからない様子でした。</li> <li>・漢方外来をいくつか回ったところ、東洋医学の視点で診てくださる先生を見つけ、効果のある漢方薬を出していただきました。しかしそのような対応ができる医師は稀なようです。ツムラの説明書どおりに処方する医師では逆効果で体調が悪化しました。</li> <li>・特効薬がなくても漢方(中医学)でできることがあるので、きちんと診ることができる漢方外来の充実をお願いしたいです。</li> <li>・患者の間で鍼灸が効くとの口コミが広がっており、私も行きましたが、1回6,000円～10,000円が相場であり、通うには負担が大きいです。保険適用が広がれば助かります。</li> <li>・無職になり税金の支払いが大きな負担になっています。無理して働けば体調が悪化する病気です。減税の条件を変更していただけたら、また、前年の収入で計算する仕組みを変えていただけたら助かります。</li> </ul>
50代	半年以上	傷病手当の充実
30代	半年以上	治療にあたって、正しい情報が見極められないです。どこに行っても何をすればいいかわかりません。後遺症外来は遠くて通えません。気力体力もありません。
30代	半年以上	ブレインフォグで労災の手続きまではできなかった
40代	1年以上	<p>区の後遺症推奨医療機関を受診したのに気のせいと言われて鼻で笑われました。</p> <p>どこで治療すればいいかわからず、ドクターショッピングをして早1年半ですが、正直後遺症外来でも味覚嗅覚異常ぐらしか診てくれなくてブレインフォグや神経痛は心療内科に行って下さいと言われるのが現状。検査代だけでも相当の出費です。</p> <p>あと後遺症をなかなか認めてくれず、結局、精神的理由で休職していることになっています。私みたいな人が多分たくさんいるはずですよ。</p>
40代	3か月～半年	扶養範囲内でのパートなので何の支援もありません。日々の生活費の補填の為、扶養範囲内のパート、アルバイトをしていたのにこんな身体になり逆にマイナスなので、多少なりパートやアルバイトにも支援してほしいです。
30代	半年以上	一時的でも構わないので給付金などの支援が必要
50代	1か月～3か月	感染後、複数の疾患で耳鼻科、胃腸科、呼吸器科に通院しています まともに勤労できない上に医療費の負担で困窮しています 一律でも何でも支援金を給付してもらいたい
40代	1年以上	資金の援助は早いと助かる。心が壊れてしまう前になんとかなる、かもしれない。
30代	半年以上	コロナ罹患期間より後遺症の期間の方が長いのに保障が何もない。治療も複数の病院を受診する必要があり(私の場合後遺症外来と耳鼻科)手間もかかるし費用もかかる。
40代	1年以上	傷病手当の支給は1年半までであり、長期に渡って体調が改善しない者にとってはそれ以降支援が受けられず、生活していけない。
50代	1年以上	傷病手当が終わり会社をクビになるので、年金事務所から、雇用保険を使用したあと障害年金を申し込みして下さいと言われました。障害年金が通らなければ、生活保護に申請して下さいとも言われました。もう少し簡素化してほしいです。

年齢	期間	
30代	1年以上	1番効果的だったのが、鍼治療でした。しかし、無職の身にとって鍼灸はとても高い。鍼灸やりたいけど、経済的に厳しいという方多いと思います。
40代	半年以上	まず、体調が悪いので、受信できない。死ぬ思いで血液検査をしに内科へ行ったら、保険診療では出来ないから実費になる、と診療を断られた。後遺症外来では、漢方を1つ出されただけでした。きちんと診察できる医者が少なすぎて、診察できる医者が何ヶ月も待たなければ診察してもらえない状況になっている。
20代	1年以上	現在、肢体不自由で障害者手帳の申請の手続きを行なっています。どこも異常はないですが、手足の不随意運動や自由に動かなかったり、足が内に入ってしまう、膝折れで装具がないと歩くことすらできないので、申請を行う事になりました。ただ、3級取れるかも分からず、こんなに日常生活が大変で支障が出ているのに、検査では全く異常が出ないので、ダメ元で申請の手続きを行なっています。2級さえ取れば、電動車椅子を補助で買う事もできますし、足が内に入ってしまう症状も、主治医に提案されているボトックス注射を無料で打つ事ができます。ボトックス注射は保健証を使って3割でも、片足6~7万するので、両足だと10万以上かかってしまいます。生活がギリギリなので、今のままだとボトックス注射を打つのは厳しいです。治療費の補助や負担等あれば本当に救われます。
40代	半年以上	家事育児仕事が出来ないため、夫が仕事を制限して代わりにしてくれています。経済的にも精神的にもかなり厳しい状態です。
30代	1年以上	後遺症を診てくれる病院が少ない上に正しく理解している医者はほとんどいないと感じます。間違った治療は症状の悪化に繋がるので改善してほしいです。
20代	1年以上	まず、後遺症外来に受診できても、あまりこれと言った知識がなく、有効なアドバイスがなされない。治療法が手探りなのはわかるが、Bスポット療法すら知らないところもある(有効性に懐疑的な医者もいるが、そもそも治療法としてそれが存在することすら知らないという意味です)。いくつかの後遺症外来に行きましたが、後遺症外来と名乗っているところでも、後遺症に対する知識量や理解度にかなり差がある印象です。よくメディアで取り上げられるヒラハタクリニックのホームページを見たほうがよほど勉強になります。なので、後遺症外来と名乗るなら、それ相応の対応ができるように、医師の方でも研修など勉強してほしいと思います。根本的にいえば、国をあげて後遺症の有効な治療法の研究をしなくてはならないです。  経済面でいえば、後遺症は有効な治療薬がなく、いつ治るかがはっきりわからない、時間が薬、という面も大きいものなので、休職期間が長くなり、また治療にもお金がかかり、金銭的に苦しくなりやすいです。実家の援助や貯金がなければ私もかなり苦しい状態だったと思います。特に座業ができない仕事は、徐々に仕事を慣らしていくこともできないので、後遺症で退職される人が多いです。SNSを見てみると、退職される方は看護師など医療関係者も多い印象です。そういった後遺症で離職せざるを得なかった人の再就職にも、支援してほしいです。
30代	半年以上	後遺症になった当初、相談センターや病院に電話をかけたが、たらい回しで本当にしんどかった。自分で後遺症を診てくれる病院を探すのはとても大変。きちんとした治療をうけられるよう案内してほしい。 あと仕方ないことだとは思いますが、申請書などを書いたり調べたりする労力がしんどい。私は主人が収入あるので生活できているが、そうでない場合の支援にすぐ対応できるようにしてほしい。
50代	3か月~半年	どこからも保障されず、症状は改善せず、本当につらいです。コロナ後遺症という病気自体が理解されず、支援にもつながっていない。どうか、支援して欲しい。

年齢	期間	
40代	1年以上	私は会社勤めをしていたので傷病手当金が支給されていますが、国民年金の方は働けない状態で金銭的な援助がない中闘病するしかなく、後遺症治療はお金がかかるのでそういった方がお金に困らないような金銭的な支援が早急に必要だと感じています。私がsnsで繋がっている後遺症の方は働ける身体の状態でない方ばかりで、生活保護に頼らざるを得ない方達が多数いらっしゃいます。そして、今は何とか動けるようになりましたが寝たきりの時は家族の食事介助がなければ餓死していたと言わざるを得ない程に食事もとれず衰弱していました。そのような重たい症状の方が介助や入院治療が出来る様な、例えばLine等で助けを求められるようなシステム作りを各自自治体をお願いしたいと思っております。
30代	半年以上	働けず通院も増えることから国の支援が必要だと思った
50代	半年以上	高額な治療費の支援が必要です
20代	3か月～半年	かなり治療費が高額なため公費負担してほしい！
50代	3か月～半年	はっきりした治療法がない。医療費負担が重い。ME/CFS(筋痛性脳髄膜炎/慢性疲労症候群)の症状らしいが医療機関につながるまでのハードルが高い。近隣の医療機関で治療が受けられない。
60代	1年以上	病名が付かないので、周囲の理解が得られない。自立活動は不可。
50代	1年以上	症状が多岐に渡っていた為、違う領域での各種検査を行い病気を否定していった為、医療費が高額となった。医療費だけでなく、サプリや鍼灸整体、食生活にも注意している為、金銭的負担が増している。後遺症についても軽視され、更年期障害ではないかとか精神科への受診を勧められたりした。後遺症について向きあう医師や医療機関の少なさが問題だと思います。また、後遺症についてもほとんど知られていない為、気にし過ぎではないかとか、みんな体はだるいよ等、無理解の言葉から辛い思いをした。
30代	1年以上	コロナ後遺症に対する治療法を早く確率させ、Bスポット療法の病院を増やして欲しい、薬は何が有効か示して欲しい。平畑クリニックのようにコロナ後遺症治療に有効なものを一覧にして世の中にもっと知らせて欲しい。
20代	1年以上	政府の財政負担が重いので5類に移行することには反対ではありませんが、どこかの病院でも診られるようにするのは院内感染リスクが高まるので反対です。そして体外診断用の抗原検査キットで陽性が確認できたらオンラインでパキロビッド(実績が不十分なゾコーバではなくパキロビッド)を処方してもらえるようにしてほしいです。
20代	1年以上	効果的な治療がない。
30代	1年以上	後遺症が適用になる支援がない、情報がない
50代	1年以上	罹患直後に親の入院介護問題が発生し、半年以上たってやっと相談窓口に通話した。「それだけ時間が経つと回復は難しいですね」と最初に言われ、いくつか医療機関を紹介されたが予約も難しい状態だった。コロナ自体受診が難しく自宅療養だったので、どこからが後遺症かさえははっきりしない。症例も増え、それなりの対症療法も見えてきた頃だと思うので、一般の内科や耳鼻科でも対応できるようにしてほしい。
50代	1か月～3か月	後遺症外来を掲げている、医師自身がまだデータを集めているだけで有効な治療法が見つかっておらず、こちらの希望した薬が出ただけで落胆した。コロナ加算の分高額な診察費になり、嫌な気分になった。SNSでは診断書を書いてもらえないという声も多く、メディアや政府も後遺症を無視しており、もっと社会的認知度を上げることが必須だと思う。
60代	1か月～3か月	臭覚の異常は経過を待つしかないこと。

年齢	期間	
60代	1年以上	治療をしてくれる医者が少なすぎる。もう3年にもなるのに、まったく医療関連の政策が実施されないどころか検討もされず、たくさんの後遺症患者が途方に暮れています。とにかく政府にはきちんとお金と頭を使って研究を進め、対策を施してほしいです。後遺症のせいで仕事をやめざるをえず、収入の道を失って路頭に迷っているかたもたくさんいます。無関心な政府の態度が、後遺症への偏見を助長し、患者の絶望を生んでいます。なぜこんなに無関心なのか！
10代	1年以上	自治体の子供の医療費補助があるので大変助かっていますが、それでも鍼灸などの自費治療、駐車場代・ガソリン代(倦怠感が強く車でしか移動できない為)の負担は大きいです。金額ではなく一部でも補助があればと思う時があります。  また、Twitterでネグレクト状態の子供(高校生?)が適切な治療を受けられないことを訴えていました。高校生、大学生くらいならまだ自分でどうにかできることもあると思いますが、中学生以下では難しいです。周りの大人にわかってもらえない潜在的な後遺症の子供も一定数いると思います。なんとか救ってあげて欲しいです。
40代	半年以上	後遺症の治療をしているところが殆ど無く、相談できるところがほしい。休業した場合の会社の保証(休暇)も必要だと思います。
10歳未満	1年以上	早急にrTMSなど自費診療になっている治療を保険適用に改正する。過去に遡り自費診療を受けた人への補償を行う。後遺症に関する社会の認知度、理解度向上に努め、「あるもの」として扱い社会全体の理解を促進すること。ひどい倦怠感で気を失うほどの友人もいます。1人暮らしの人は治療に行く体力すらもなく過ごしています。自宅へ往診できる医療体制の充実。そのためにも医学部進学希望の高所得層以下の家庭への支援も充実する。看護が必要な家族を持つ人への支援。
30代	1か月～3か月	後遺症と診断されたら、専門医の紹介などを積極的にやって欲しい! 個人中小企業は、休業中の経済支援がなく 長引くと、経済的不安があり、見た目で見えづらく、無理強いされがち!
50代	半年以上	私のような副作用は、あまりないので、皮膚科の先生にも、副作用なの?みたいな態度を取られた。また、元々フケもあつたりするんじゃないの?みたいなことも言われて傷ついた。
30代	1か月～3か月	対処療法しかなく、複数の医療機関受診や、処方外のサプリに頼っているので医療費の負担が大きい。一箇所ですべて診てもらえる医療機関が必要。金銭的支援も。
50代	1年以上	治療法が確立していないこと。
40代	1年以上	治療があるなら、その治療が保険適用なら良い。一方、動けない、働けない人に経済支援は不可欠。
10代	半年以上	有効な治療法がない事
40代	1年以上	一刻も早く研究を進めてほしい。経済的支援も全く足りておらず本当に困っている。
10代	半年以上	カネがかかるので医療機関には1つしか行っていませんし、そこでも有効な手立てはありませんでしたので、亜鉛とマルチビタミンを取り続けています。
30代	1年以上	社会での認知不足。全員がかかるわけではないものなので、職場でも病院、友人家族からも理解が得られず、サボっているだけまたはメンタルのせいだと思われ、精神的に追い詰められた。
40代	1年以上	鍼灸治療で改善が起きた。鍼灸の保険診療が簡単に受けられるようにしてほしい。また、治療費の負担を減らして欲しい。
50代	3か月～半年	働けない上に治療費や対症療法費がかかり貯金がなくなりました。経済的支援をお願いします

年齢	期間	
30代	1年以上	後遺症は長期間にわたり続く方が多く 疾病手当は1年半ですが、それまでに完治せず生活に困窮している方を良く見かけます。 また後遺症を見られる病院も少なく、なかなか治療に結びつかず、後遺症に理解のない病院で酷い対応をされる事も多いです。 後遺症外来の診療報酬が少ないのも、後遺症外来が少ない原因だと思えます。 ここ3年ほどヒラハタクリニックにばかり負担がかかっています。
40代	1か月～3か月	抗ウイルス薬が処方されず、胸部症状に怯えてから指定は
50代	1年以上	生活保護なので治療に繋がらない
30代	3か月～半年	コロナ後遺症による疾病にも金銭的補助が欲しい 仕事や生活に多大な影響があったのに 保険も下りず預金ばかりを失うことになったのに何の補償もないのが辛い
30代	1年以上	20-30万使ったのに治らないし何もないのおかしい
10代	1年以上	急性期の症状だけでなく、後遺症患者へ経済的支援を求めます。有効な治療は保険適用 外のものばかりです。
40代	1年以上	薬の種類が多く、病院と薬局でかなりの金額なので、何かしら支援があれば助かります
40代	半年以上	コロナ後遺症で休職を余儀なくされ給料が支払われない中、rTMSや鍼など自由診療の治 療費や交通費に非常にお金がかかった。 動けず働けない状況に追い込まれる中、治療費等の負担が大きいと感じた。
30代	半年以上	後遺症外来が明らかに少ないし金目当てでしている病院もあるので判断が難しい。こちらは 藁にもすがる思いで受診をしているので…
40代	1年以上	経済的支援や後遺症を診てくれる病院を増やして欲しい
50代	半年以上	ひとり親で、扶養者2名。家のローンが払えない。また税金が前年度の計算なので払えない。 臨機応変に対応してほしい。家計急変の奨学金も、前年度の収入で見られるので、全て該 当しない。今！困っている！！治療や投薬もお金がないので、受けれず、長引いている。 悪循環と思う。
40代	1年以上	2020年に複数の医療機関にかかりましたが、「コロナ」と口にただけで、門前払いされるケー スがありました。その他の医療機関でも検査で特に異常が出なかったのに、心因性のものと片 付けられて、PCR検査も治療も受けられませんでした。後遺症難民、医療難民への福祉的 アプローチ、医療難民への後遺症認定の医学的なガイドラインの作成を求めます。
30代	1年以上	お金が無くて病院に行けてません、費用がどのくらいかかるか怖くて…。 経済的支援は、特例貸付を利用させて頂きましたが、非課税世帯にて免除申請の書類が 届いたので申請をしたのですが、申請が通りませんでした。
40代	1年以上	私は労災認定されているため、休業補償を受給して医療費の負担がなく助かっています。 労災以外の方へも医療費負担の軽減を行なってほしい。
50代	3か月～半年	ワクチン後遺症の事にも取り組んでください。 こちらの方が、健康な方が働けなくなったり、学校に行けなくなったり、また 突然死をされた方が多いです。この方々の救済もよろしくお願いします。+

年齢	期間	
40代	1年以上	傷病手当はあっても、期間満了で受給できるわけではない。会社の職務規定により、期間満了より前に復職しないと(復職相当の回復ができていなくても)退職となり色を失う。再就職となると、ブレインフォグなどの症状がある上で雇用してもらえるかという懸念が大きいので、今の職場を手放せない。 故に、復職とは名ばかりの実質はほぼ無給に近い状態でのリハビリ復帰であってもせざるを得ない。社会保険の対象からは外れて、唯一の頼みの綱であった傷病手当金もなくなる。  長期療養者に対する支援策がひとつもないことが本当におかしいと思います。
20代	1か月～3か月	そもそもコロナかもと思って県の相談センターに電話したら案内が雑でコロナ診療をしてくれる病院を探すのに時間がかかった。後遺症治療は問題なかった。
20代	半年以上	かんぽなどの保険会社に『コロナ後遺症は対象外』と言われ、今はなんの支援もない状態です。 コロナ後遺症の指定医療機関を設置したり、後遺症治療費の負担を軽減していただければと思います。
50代	1年以上	私は専業主婦でしたがこのような状態では子どもが義務教育終了の段階でパートなどの仕事に就く予定でおりましたが、仕事に出られず、家族のフォローも必要で人生が壊されてしまっています
10代	1年以上	子どもは不登校枠に入れられてしまっていますが、通いたくても通えない日々でした どんどん置いていかれるばかりで、死にたいと日記に綴られていることもありました。 病院にあちこち相談に行きましたがずっと思春期だからとか、まともに治療に繋がってもらえず、不信感も募り自然に治ることを期待していましたが なかなか改善せず、まる2年以上過ぎて現在は大学病院を受診していますが、後遺症外来のある大学病院では検査陽性者のみしかみないと受診拒否されました。
40代	1か月～3か月	後遺症については、全くノーケア。 医療費も掛かるし、むしろコロナより後遺症の方が辛い。
10代	1年以上	治療法が確率していない現状の中で鍼灸といったものにもお世話になってます。その様なものに対しても経済的支援を求めます。
40代	1年以上	新型コロナ後遺症外来へのタクシー代支援
50代	1年以上	後遺症について理解がある医師が非常に少なく、効果的な治療を受けるのが困難である。
60代	1年以上	私は定年後の非常勤の仕事だったので、経済的支援は考えなかったが、現役だったら、辞める選択肢は持てなかった。3年目の現在も、フルに仕事できるほどには回復していないので、休職期間の延長、経済的支援は必要だと思う
50代	1年以上	治療法がない事、治療費がかかる
40代	1年以上	労災と認められるまでの半年間の治療費、交通費、生活費など… 運良く認められたので、今は問題ないですが これが認められてなかったら、と思うと怖いです。
50代	1年以上	医療費が非常にかさむ。無職だと貯金を削るしかなく長期化すればするほど生活が苦しい。
40代	半年以上	自営業の為、身体が辛くても仕事をしなければ生活できません。会社勤めでない人達の支援を充実させてほしいです。

年齢	期間	
50代	1年以上	<p>○多くの病院で検査や診察、薬の処方を受け、罹患した2020年以降、毎年100万円前後の医療費を支払い、生活費が逼迫している。保険外診療の支払いも多いが、高額医療費制度の対象外となっている。</p> <p>⇒医療福祉の整備が必要</p> <p>○後遺症に関する治療法の早期確立が必要</p>
40代	1年以上	<p>労災の休業補償を受けられたので恵まれていると思います。ただ、健康保険から労災へ切り替える手続き(療養費)の際、病院の証明を受けるのに病院が労災ではないとして証明してもらえなかったり、医療費より証明代の方が高額で手続きを進められなかった病院がありました(労働基準監督署に証明してもらえない場合の対応を相談しましたが、それは労災にあたらないと医師が判断したことになるため労災請求はできないの事でした)。また証明してもらえても、重い物を持ってクラッシュして腕の痛みが悪化したことについて「重い物を持って痛めた」だけでコロナとは関係がないような記載があり、うまく伝わらない事がありました。</p> <p>また、治療はヒラハタクリニックのオンライン受診ができたので助かりましたが、血液検査等の検査を医療機関で受診するのに「コロナの後に具合が悪く、検査をしたい」と伝えるとうちでは見られないとやんわり拒否されました。最終的にはコロナ後遺症外来をさがして全て検査してもらえたので助かりましたが、腕の痛みは整形外科、血液検査は内科といくつも病院を回って拒否されながら検査してもらえる病院を探すのは大変と感じました。</p>
40代	半年以上	<p>対症療法しかないため、症状に合わせて複数の病院にかからざるをえず、治療費がかさむが、収入は途絶えているため、貯金が尽きたら終わる。また地方の医師は理解がなく、治療できる医療機関が少ない</p>
30代	半年以上	<p>治療方法が確立されていないので、対処療法しかない</p> <p>医療費の補助もそうですが、車椅子のレンタルやコロナ後遺症に良いとされるもの(サプリや飲み物など)にもお金がかかるので、そういったものの補助も必要</p>
40代	1年以上	<p>コロナ罹患時だけの補償ではなく後遺症で動けなくなった人の補償や、仕事しながら治療を続けたいといけない人への、有効とされる鍼灸の保険適用をして欲しい。</p>
70代	1か月～3か月	<p>MRI検査は高額で支援金とかあれば助かった。</p>
50代	1年以上	<p>世の中の医師に、ワクチン接種による体調不良をもっと理解して欲しいです。心無い言葉でどれだけ医療不信になっている人たちがいるのか。</p>
50代	3か月～半年	<p>速やかな関連性認定と労災支給</p>
40代	1年以上	<p>治療費が高すぎる。それで治ればいいが治らない</p>
50代	1年以上	<p>医療費がかかる。</p>
30代	半年以上	<p>公的な治療の支援、金銭的な支援が欲しい</p>
50代	1年以上	<p>通院が一か所で済まない。鍼灸に行きたいが経済的に難しい。医療費の補助がない。</p> <p>受けた経済的支援:事業復活支援金</p>
50代	1年以上	<p>後遺症外来(ワクチン後遺症含め)増設</p>
50代	半年以上	<p>お金と時間が非常にかかる</p> <p>嘘について色々な検査をして結果を確認して、心配な項目を自分だけで潰していく事で治療法を探している。総合的に見てくれる医療機関はない。治療法の研究は各国で行われているが、日本ではどうなのか。</p>
50代		<p>とにかく後遺症治して前の生活に戻りたい</p>

年齢	期間	
50代	1か月～3か月	確実な治療が確立していないため、時間がかかりすぎます。勤務先が共済があるのである一定の治療費は保証されますが、それがなければ高額になり治療しないままになると思います。
50代	半年以上	休業で収入は0です。病院代はどんどんかかりますが、もう限界で、行けなくなった。最初の時点で、保健所に連絡しましたが、後遺症外来は無いから、対処療法しろと言われた。病院代はもとより、生活する為のお金も稼ぎに行けない。治療も生活費も生きていく為には、支援が必要です。
50代	1年以上	医者や医療関係者にコロナ後遺症の知識がない、もともとコロナ罹患したという証明がないことでコロナの後遺症とみなされない、後遺症という認識がないなどの理由で、全体的な体調をみてもらえず、あちこちの様々な病院や科をたらいまわしにさせられることが問題です。これらの医療費にも保証もないために全額自腹で、1、2年目は薬、サプリ代などをあわせてもかなりの金額になりました。
30代	1年以上	ほとんどの病院で血液検査から問題ないと言われた。
40代	半年以上	後遺症外来が少ない。仕方ない事かもしれないが、後遺症外来以外の医師は患者の症状がブレインフォグなどの場合、お手上げなのかすぐに精神科などを進めようとする。鬱などとは根本的に違う事がわかっていない。
30代	1年以上	医療費が莫大にかかるのになにも保証がない
30代	1か月～3か月	後遺症の通院でも、治療費がタダになって欲しかった
10代	半年以上	保健診療以外に、サプリメントや鍼治療などの効果もあるので治療を受けたが、金銭的に負担が大きく大変でした。社会人ならば収入も途絶えるし、学生でも家族が仕事を休んで看病したり通院中したり、しなければならず負担が大きい。経済的な補助が欲しかった。
10代	半年以上	学生は、支援がないこと
10代	1年以上	体位性頻脈症候群は思春期の病気と思われてますが、コロナ感染が契機になります。治療法が確立されてない自律神経の疾患です。後遺症への理解が深まり、診断できる病院が増えることを希望します。
50代	1か月～3か月	治療してくれる病院がないこと、世間的な周知がないこと。
60代	1年以上	コロナ後遺症、初期の為、検査もしてもらえず、コロナ後遺症と認めてくれる先生はいましたが、それを検証できなくてごめんなさいと言われました
40代	3か月～半年	私は妊婦のため、できる治療も限られています。それ以前に後遺症の診察ができる病院が通院可能な範囲にありません。もし私ではなく、夫が後遺症を抱えていたら、生活ができなくなります。
50代	1か月～3か月	後遺症診察を行っている病院が少なすぎます。後遺症が長引くと働くのもままならなくなるので国からの経済的支援は必要かと思います。
10歳未満	1か月～3か月	まずは罹患後の体育や部活について、日本臨床スポーツ医学会は罹患後の復帰指針を出していますので、教育現場や保護者にも理解を促し、配慮をすべきです。また、後遺症を抱えた子への学習支援(オンライン授業とその出席扱い、成績への配慮)をやってほしいです。
50代	1年以上	後遺症外来がない
40代	1年以上	傷病手当が1年半なのはコロナ後遺症では足りない方も多い気がしています。重症の方のその後の支援の検討が必要かと思います。

年齢	期間	
40代	1年以上	今は平畑クリニックにかかっていますが、そこに出会うまでに、街のクリニックから総合病院までいくつも受診しました。でも、どこも、微熱や疲労感は気のせい。そんな、後遺症なんてないとひどい扱いを受けました。
30代	1か月～3か月	身近に専門外来がない、治療法が確立されておらず不安
40代	1年以上	病院の検査で異常が無い為、治療や通院はありませんでした。その結果、手当も出してもらえずに思わず退職を決意せざるを得なくなりました。コロナ後遺症は医学的には存在しないと言われるのですが、感染後の長引く症状について何らかの特別手当支援が設立されて欲しいですね。
30代	半年以上	都内一人暮らしなのですが、傷病手当だけでは食費一万円とかにしても生活費すらギリギリな状態で、治療費も最低限の治療にしか当てられません。治療に専念するための傷病手当なのに、肝心の傷病に対する手当が足りません。
20代	1年以上	家賃を払えなくなり、実家に帰りました。保険料や所得税、住民税など仕事を辞めてからも費用が積み重なり、貯金がなくなりました。また治療研究についても進んでおらず治療法がまだありません。
20代	1か月～3か月	学生だったので休業(コロナ発症からは2ヶ月)だけで済みましたが、社会人で後遺症となった場合は仕事に行けず困窮し負の連鎖になることが容易に想像できます。
30代	半年以上	コロナそのものと比較して後遺症の認知がなく、倦怠感がひどいですが、それだけだと怠慢や甘えのように受け取られることが多く理解が得られないです。また後遺症のような長期的なものに対する補償もなく生活が不安です。
50代	半年以上	労災認定まで長い。貧困になりお金を借りた。傷病手当の支給を受け、その後、労災で返却するということも何も情報がなく知らなかった。働ける前提でないと受けられない支援金ばかり!口働けないから受けられない。
30代	1年以上	治療費が高く経済的なかなりきつかった。政府としての援助をお願いしたい。
50代	半年以上	若い世代で学校に行けなくなっている子もいるのに国は放置。せめて若い子の支援をしてあげてほしい。
30代	1か月～3か月	後遺症と診断がいたら任意保険から保険金ができるようにしてほしい何のための保険かわからない
60代	半年以上	書類を作成、提出でクラッシュを起こす。そのくらいツライ病気です。失業保険もコロナ感染特別給付金も、求職活動ありきで給付しますとの事。コロナ後遺症の患者は求職活動なんぞできません。生きていだけで精一杯なんですから。求職活動の実績を出させるなんて形式だけのものは止めて欲しい。
50代	半年以上	コロナ陽性中は医療費無料なのに、後遺症はお金がかかる。仕事もできないのに、病院にも行けない人がいる。
40代	1年以上	後遺症外来が少なく、行政、役所の態度にはうんざりかなと、あの冷たい態度には
40代	半年以上	とにかく、医療費の補助をして欲しい。
40代	1年以上	治療費や検査もかなり費用がかかるため生活を圧迫されます。また、仕事ができない為収入もなく、子供がいるのにとっても生活に困っています。

年齢	期間	
40代	1か月～3か月	傷病手当を受けたい。
30代	1年以上	保険適用外だったり、保険診療であっても、毎回の医療費がかさむことへの不安だったり、こうした医療費に限らず将来的不安もあつたりするがゆえに仕事をムリして続けて後遺症が悪化したりするケースがあるので、給付金だったり様々な援助が必要だと感じています。また、今は原因不明なので対処療法しかできていないのがほとんどなので、国としても、後遺症研究・治療に予算を配分して、より効果的な治療が生まれることを後押ししていただきたいです。
50代	1か月～3か月	後遺症外来が増えてほしい
30代	半年以上	コロナ後遺症外来の不足
20代	1か月～3か月	せめて、失業したら僅かばかりの支援が欲しい。
40代	1年以上	経済的支援がないのでお願いしたいです
30代	1か月～3か月	新潟県に在住しているのですが、県内にコロナ後遺症外来を実施している病院が1つしかなく、その病院があるのは県内の上越地方で私が住んでいるのは下越地方というところで、私の住んでいる場所から病院までの距離はおよそ120kmあります。新潟県のほぼ端と端です。とてもじゃないですが通院できる距離ではありません。 コロナ後遺症外来を実施してくれる病院を地方にもっと増やしてもらいたいです。
30代	1年以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブレインフォグには労災書類(自身で書かないとならない部分やどのように記載するか調べる)が複雑で、早く支援を受けたいものの症状が重い中で理解し作成は大変でした。</li> <li>・迅速な支援:そもそもどのような支援があるか自分で調べなければならぬのが大変です。保健所や医療機関を通して支援窓口一覧、方法配布など迅速に支援に繋がれる方法をお願いします。</li> <li>・幅広い支援:治るために無理はできません。しかし治るのに時間がかかり経済的な問題がでてきます。治りきらないまま働かざるをえなくなるとはより症状が長引き、最悪悪化します。経済的な支援は広く必要と考えます。私は幸い労災があるため助かっていますが途中で打ち切られないか考えるだけでも心配になるので支援がない方の不安はいか程かと思えます。切実です。後遺症で働けない人が増えることも国の経済的な損失と考えてください。</li> </ul>
40代	1か月～3か月	職場に訴えても何もしてくれないので、公的機関で何とかしてほしい
50代	半年以上	後遺症について医師の知識があまりに無すぎます。もっと勉強して欲しいです。医療費(保険が効かない検査等もあり)サプリメントや鍼灸にもかなりのお金がかかりました。一時金として幾らか援助して欲しいです。
30代	1か月～3か月	一人暮らしの場合、誰かに助けを求める事が難し人も多いと思います。ヘルパーさんをお願いしたり、入院したくても何処へ相談していいのかも調べても出てこない、誰かの手を借りたくてもどうしていいかわからない状況がとても大変でした。
20代	1年以上	コロナ陽性になり、その療養期間は傷病手当の対象だが、後遺症は対象外で援助が何も無いこと。生活保護も難しいこと。
40代	1年以上	傷病手当の期間が過ぎても後遺症は改善せず、職場復帰もできずです。後遺症患者の実態をもっとわかって欲しいです。
40代	半年以上	後遺症外来の医療機関が少なく、予約すら取れない。
40代	半年以上	経済支援をしてほしい

年齢	期間	
50代	半年以上	<p>大概の方なら半年は雇用保険で賄えると思いますが…半年過ぎた場合…生活費の援助、医療費無料化にしてほしいです。</p> <p>コロナ後遺症外来だけでははっきりしないことも多く他の科も受診せざるを得無いのが現実です。</p> <p>我が家は非課税なので医者に行けば行くほどお金がかかり、生活ができていません。</p>
30代	半年以上	<p>傷病手当は退職になると打ち切られてしまいます。いつ治るか不安な毎日の中、金銭的負担までかかり本当に先が見えず恐怖でした。でも治るための治療にはお金がかかりました。</p>
40代	半年以上	<p>専門外来で後遺症だと診断されるまで、後遺症と診断されてからも、日々もぐら叩きのように出てくる経験したことのない不可解な症状に悩まされました。</p> <p>そのため、2ヶ月、3ヶ月待ちと言われても、藁にも縋る思いで良いと聞いた病院には必死で足を運ぶ毎日でした。</p> <p>日々重い倦怠感とブレインフォグに悩まされる私にとっては、多くの医師でさえ私の体に何が起きているのかわからない中、自分1人でどういう治療方が最適か探して判断することが、まず非常に困難でした。</p> <p>そして、せっかく受診できても、時にその医師でさえも手探り状態の対処法、もしくはもうお手上げ状態だという現実深く絶望しました。</p> <p>元派遣社員で一人暮らしだったため、両親への仕送り等あり、お恥ずかしい話ですが家計に余裕がありません。</p> <p>働けないため、貯金を切り崩しながら傷病手当をいただき凌いでいますが、診察代、交通費（歩けないためタクシー利用）、ありとあらゆる検査代、何種類もの漢方薬など、治療にかけた費用だけで半年で40万円を超えました。</p> <p>現在、症状はおかげさまで落ち着いており社会復帰の目処もようやく立ってきましたが、以前のようにフルタイムではすぐに働けません。</p> <p>生きる意味を必死で考える毎日です。</p> <p>どうか、治療中からフルタイムで働けるまでの間、経済的サポートがあればと切に願います。</p>
50代	3か月～半年	<p>コロナ後遺症は、病院によって、なかなか認めてくれなくて、別の原因でないのかと、検査ばかり進められ他の病院でも同じ対応するところが多い</p> <p>治療費もかさばるし、認めて貰えないストレスも多い。もっと、コロナ後遺症を病院先生達に認知させてほしい。</p>
30代	1か月以内	<p>コロナ後遺症よりもワクチン後遺症を調査してほしい。健康被害が出ているのにワクチンのせいだと認識していない人もいる</p>
50代	1年以上	<p>治療期間が長期にわたるので、経済的な支援が必要だと思います。あと社会の偏見がひどいですね。詐病と思われるため。</p>
40代	半年以上	<p>治療が受けられる医療機関が少ない</p> <p>治療が受けられる数少ない医療機関に患者が殺到している</p> <p>後遺症の診療報酬を上げるべき</p> <p>後遺症患者への支援金を検討して頂きたい</p>
40代	1年以上	<p>ブレインフォグが重くて自分で手続きできないなら他人に頼んでもやっておいた方が良い申請などがまとめて一覧などであると助かります。</p> <p>わたしは職場中に在席中に傷病手当を申請すれば退職後も傷病手当をもらえることを知らず、家族もしらなかったため二年弱後遺症で働けていないが短期間しか傷病手当がもらえないです。</p>
30代	1か月以内	<p>後遺症についての情報が足りない。様々な情報を多くの人が理解するべきだと思う。</p>

年齢	期間	
30代	3か月～半年	失業保険など受けられない個人事業主など、まったく収入がゼロになってしまう人だけでも、月に5万でもいいから支援してほしい
50代	半年以上	後遺症治療の一つ、Bスポット治療を行なっている耳鼻科が杉並区内に2ヶ所しかなく不便。後遺症外来をやっている病院も少なく、8時間待ちに疲弊する。
20代	3か月～半年	一人暮らしで半寝たきり状態、事情により親からの支援もなく、自力で何もかもやるしかなく無理することで悪化しています。
40代	半年以上	上記に書きました
40代	1か月～3か月	後遺症に対
20代	1か月～3か月	まだ特効薬がなく、薬を飲んでも変わらないことが多いので後遺症も薬代負担希望
30代	1年以上	もう一度10万円給付してほしい
50代	1年以上	傷病手当を受給できているが、療養が長期にわたり復職への目処がたらず、支給期間終了となったら、収入が途絶える事になり、療養費の補助もなく、常に不安に思っている。何とか治したいと様々な治療を行っているが、通院費用が家計を圧迫し、毎月赤字である。通院費用の一部でも良いので、補助の制度ができる事を望んでいる。 4時間勤務で在宅ならば、勤務できそうな日もあるが、現在の勤め先では、最低でも6時間勤務で週5日の通勤が、復職の条件となっている。半日勤務かつ在宅勤務ができるよう、国が各事業者へ積極的な働きかけをしていただきたい。 少しでも働ける環境を残してもらえよう政策が急務であると思う。 物価高騰や子供達の教育費負担もあり、このまま失職することを非常に不安で恐れている。今まで国は後遺症の実態把握すらしておらず、何の政策もとらずにこのまま後遺症に苦しむ患者は経済的にも苦境にたたされたまま、放って置かれる状況で、支援も無く身体的にも辛い中、非常に苦しい毎日を過ごしている。どうか、後遺症への理解が深まり、社会的な支援が広がることを心より願っている。 ツイッターを検索していただければわかるが、多くの人が年代も様々で後遺症に苦しんでいる。どうか、少しでも状況が改善できるようお力添えをお願いしたい。応援しています。よろしく願います。
40代	1か月～3か月	治療法が確立していないのはわかっているので、後遺症に苦しむ人がいる現状をもっと理解して研究を進めてほしい。
20代	半年以上	後遺症の治療において、運動は慎重に行わなければならないのに、そういう専門的なことを理解しているお医者さんは少ないと思いました。また、後遺症で働けなくなった個人事業主は本当にどうしたらいいかわからず、補助金など問い合わせてもないと言われたので、少額でもなにかあるべきだと思います。
10代	1年以上	後遺症から筋痛性脳脊髄炎に移行しているが、動くことも頭をつかうこともままならず就学就労できない。それにもかかわらず、難病指定されていないので治療費、生活費だけかき、八方塞がり。将来に希望が見えない。見た目は普通なので理解もされない。障害者手帳もなかなか取れない状況を何とかして欲しい。
40代	1年以上	不便だが他の病気も同じなので特別な支援を求めるのもどうかと思う。経済的にはかなり厳しい。
20代	半年以上	治療費がほとんど自己負担

年齢	期間	
50代	半年以上	身体を温める為の機械を医師の指導のもと購入した。100万円かかった。  更に、複数の医療機関にかかり医療費の負担が大きい。  医療費や、後遺症が完全に良くなるまでの経済支援が必要。
10代	3か月～半年	医療機関により、対応が大きく異なり、適切な治療にたどりつのに苦労する。
20代	半年以上	国民健康料を支払っているのに、私はフリーランスなので傷病手当が受けられなかった。保険料を支払っている意味がない。
40代	3か月～半年	労災の支給まで、傷病手当の申請を会社に依頼したら「煩雑になる」と言われ、傷病手当が受けられず、今現在、労災も支給されておらず、半年無給の状態です。
20代	1年以上	後遺症患者への経済的支援と共に、後遺症外来医院に国からの経済的支援、保険点数アップが必要 後遺症解明研究にもっと予算が必要
40代	3か月～半年	後遺症外来をしている病院が少ないです。
40代	1年以上	保障されるようにする
40代	1年以上	余りにも多くの症例があり後遺症だと自覚していない人も多いようです。まずは議員の方々、京大の福島先生の動画でも見て状況を知ってほしいと思います。
20代	半年以上	労災を認めるよう国は企業に、声を出してほしい
30代	1年以上	ある。介護保険や、ヘルパー介助、身体障がい者手帳が必要です。コロナ後遺症外来、入院
30代	半年以上	みてる病院が少なすぎます。
30代	1年以上	治療法がない 専門的な病院が近くにない
30代	1年以上	コロナ後遺症で複数の病院を受診しましたが、多くの病院で受診拒否されました。また勤務先の産業医、保険医から辛い時期にとにかく動け、会社に来いと言われて体調が悪化しました。医療従事者の中でも後遺症に関する知識が浸透していないのは問題だと思います。
30代	1年以上	保険診療の後遺症外来が少ない事です。経済的には、難病や障害の認定がされないため、困ったら生活保護しかないのが現実です。
10歳未満	1か月以内	後遺症についての情報をもっと出してほしい
60代	1か月～3か月	現役世代は休めば収入減少に直結する。こどもは出席日数が足りなければ、高校ならすぐに進級にひびく。
40代	3か月～半年	後遺症外来の医師も十分に後遺症を理解していない。
50代	1か月以内	発熱外来を増やして欲しかった。すまい付近にはなく、隣駅まで行く事になり辛かった。
20代	半年以上	月10万円欲しい
50代	半年以上	後遺症外来を増やして欲しい 金銭面の支援が必要
20代	1年以上	後遺症にもっと目を向ける支援制度を増やす

年齢	期間	
20代	1年以上	有効な治療法を見つけて欲しい。 周りの理解が得られない、海外では後遺症は社会問題になってるのになぜ日本ではあまり取り上げないのか。
10代	1年以上	何も感染中だけじゃない、感染後の方がよっぽど苦しうにしている。 怠けや気持ちの問題と周りから思われるが、本当にこの病気は頑張れば頑張るほど動けなくなる。 助けてください、治療法をください。
10代	1年以上	治療法の確立。
50代	半年以上	医療費の助成金が必要 無駄な検査費用ばかり掛かるが結局たらい回しで原因不明と言われる。
40代	1年以上	個人事業主に対する休業補償のようなものを導入して欲しい
30代	半年以上	後遺症外来医師の知識不足、世間への周知
60代	3か月～半年	意欲的に労働することが出来ない期間の経済的支援が必要だと思います。
30代	半年以上	傷病手当金の申請を簡素化してほしい。 休職中だと、郵送でのやりとりとか、頭が働かないと書類の記入もつらい。 あと、経済支援を増やしてほしい。 基本在宅、水道光熱費も増えたり、作れないからと市販の惣菜とかで食費も増え、それに治療費。物価高だし。働いていた頃の収入を基準に課税、非課税決められても、今は非課税世帯並の収入なのに…免除、減免手続きもしあっても体力なくてできない。
40代	半年以上	コロナ後遺症に対する医療の認識不足。
40代	3か月～半年	これからも続く通院費用を負担して欲しい
10代	1年以上	後遺症に対する明確な医療費支援があればいいと思う。 治療薬がないからこそ、沢山の医療機関に通っている。 交通費、医療費、サプリメント代がかかるのに治療期間は学校や仕事を休まざるを得ない現状。
30代	3か月～半年	治療を受けたくても受け入れてくれる病院が少ない
40代	半年以上	社会復帰できるのか不安があるので、そこらへんしっかりとしてほしいです
10代	1年以上	治療法が確立されていない点、診療可能な医師が限られておりなかなか診てもらえない点
40代	3か月～半年	後遺症患者のための医療費負担をなくす。
40代	1年以上	補助費用があれば大いに助かります
30代	半年以上	後遺症については、有名な都内の病院さえ、あまり当てにならない。聖マリアンナが有名な後遺症外来があるか、遠く受けることが困難。クリニックの後遺症外来もあるが、多種多様な症状すべてに一つのクリニックが対応できるはずもなく、複数専門的なクリニックを受けなくてはならず、費用がかさむ。有効な治療がないので、自費治療で高額な点滴をしたり、有効手段がないから高額な鍼灸をすすめられたりする。なんとか後遺症について支援策をしてほしい。
40代	1か月～3か月	今はコロナ休業補償が無くなったらしいから感染すると本当にキツくなると思う。自営業や非正規の知り合いは症状があっても仕事を続けていた。1週間休むだけで生活は致命的。

年齢	期間	
30代	1か月～3か月	そもそも体力が落ちているので病院にかかる気力が出ません。
30代	1か月～3か月	コロナ後の方が明らかに処方される薬も多く、薬代がとにかく負担(1ヶ月1万)また通っている病院が普通の内科のため後遺症に特化しておらず手探り状態。本当に治るのか不安
50代	1か月～3か月	後遺症の影響自体があまり知られていないのでは？
40代	1年以上	重症者への補助金支援
50代	1年以上	治療や経済的支援も必要だが、政治は後遺症の発生を低減する方策を同時に考えるべき(つまり感染拡大の低減、感染蔓延に合わせた暮らし方への変化)。それを考えないと、労働力減少や補償の増大で社会が継続できなくなると思う。
50代	1か月～3か月	たまたま主治医もコロナ罹患後に後遺症があり、親身に相談にのってくれましたが、まわりの人をみても医療に繋がれていないと感じます。特に单身の方、病院に行ける状況じゃなくて精神的に追い込まれても、なかなか支援の声を上げられないという例を見聞します。サポートセンターみたいなものがあればいいと思います。
30代	1か月～3か月	漢方や東洋医学などで改善をはかろうと思いますが、保険が効かず高額となります。漢方や東洋医学に関しても保険適用になると嬉しいです。
20代	1年以上	完璧な治療があるわけではないため、終わりのない治療を継続し続ける必要があり、医療費の補助などがあると嬉しい。
20代	1年以上	一番は治療やその研究に予算を注いで欲しい、ということです。的確な治療ができないと当然後遺症は治りません。後遺症が治らないと、当事者やその家族の家計は圧迫されます。すると政府への不信感、うつ病、家庭崩壊など二次的な諸問題が発生します。なにはともあれ治療しやすい環境づくりと、治療自体の方針やあたらしい治療法の模索に予算をかけてほしいです。予算をコロナ後遺症の陽性証明ができていなくても、2020年2月～3月は保健所による検査拒否が行われていたのは周知の事実です。医療機関への通院履歴から、陽性事実がなくても後遺症認定するべきだとも思います。そして後遺症の人々には経済的支援(障害年金のような形で)をするべきかと思います。
30代	1か月～3か月	まず第一に、周囲の理解がない。しっかり特番などを組み、科学的見地に沿って国民に知らせるべき。後遺症で苦しむ人間に対し「甘え」だの「運動して筋力を戻したほうがいい」だの、「そんな気がするだけ」だの言う人間の多さ。明らかに記憶力が落ちているなど、顕著に表れているのに。共感力の欠如だ。わたしはリモート勤務ができたので、後遺症が最も酷かった時期に出社せずとも給与は支払われたが、罹患リスクが最も高いリモートがそもそもできないソーシャルワーカーや、水商売従事者などのことは一切考えられていないと思う。
40代	1年以上	診断、治療できる医師が居ない。 鬱だと誤診してまともに治療をしてくれない。  コロナ前は精神科の専門医、指定医として働いていたのですが、後遺症のため退職。大学病院を主軸に複数の病院に通院中ですが、どこも的外れな診断をして、鬱で片付けようとする。 そもそも鬱病は内科の先生や膠原病外来の先生が根拠もなく診断できる病名ではないし、何でもかんでも不定愁訴と括り、鬱のせいだと治療を放棄する病院のなんと多い事か。10年以上精神科専門医として外来、病棟で診察をしてきたのだから、鬱かどうかの診断なんて自分で分かるし、鬱ではないから、働けないくらいの体調だから退職して通院しているのに、治療をしてもらえず治して貰えない。
20代	1年以上	通院できないからオンラインにしてほしい
40代	3か月～半年	病院の予約がとれない コロナかもと言えばなおさら拒否される
10代	1年以上	学力かなり遅れてます。家庭教師に来てほしいです。

年齢	期間	
50代	1か月～3か月	医者個人の裁量で治療が変わる、かかりつけ医や、ガイドラインと言う曖昧な制度に頼らず、医療の公共化を進めるべき。
10代	1か月～3か月	子供の体調不良、通院で仕事を休むことが増え収入に影響する。仕事を辞めることも検討中。経済的な生活支援、復職支援が必要。
30代	1か月～3か月	補助金や保険の対象にしてほしい。適切な医療がない為病院をたらい回し。入院レベルなのに何の補償もなく不安でいっぱい。医療費も全部自分で払う為、恐ろしい。家族に迷惑ばかりかけていて生きている不安を感じるので、せめて補助金や助成金がほしい。
20代	3か月～半年	どうしても働けない状態になって休職してもお金が減る一方で死活問題になっている。母もコロナ後遺症で仕事ができなくなり、家族3人で生活しているが、母と自分自身が後遺症で仕事が出来なくなり、病院に行く度に交通費や診察代、薬代、治療代で支出する一方で貯金も尽きて経済的支援がない事が本当に辛い。
50代	1年以上	かかりつけ医がコロナ後遺症の知識を持っていない。治療法もわかっていない。
30代	1年以上	ヘルパーさんの利用や交通費などの補助
50代	1年以上	通院・治療に、とにかくお金がかかります 治療費、薬代、交通費、駐車場代なども  後遺症への無理解をなくしてほしい
40代	半年以上	特効薬がないのが辛い。後遺症治療費を支援してほしい。
80代以上	半年以上	有効な治療が受けられる医療機関がどこにあるのかわからない、医療機関自体が後遺症についてまったくの無知、漢方薬等も有効な処方出来ない医師が多く、そのわりに効果がないのに、保険がきかないため高額、
30代	1年以上	後遺症外来の少なさ。治療方法の未確立。
40代	3か月～半年	理解が少なすぎる事。 一般人ならまだしも、医者による無理解な発言が多い現状をなんとかしてほしい。
30代	半年以上	情報が足りない
40代	3か月～半年	後遺症外来を増やす
10代	半年以上	学校での出席の扱いや、授業のフォロー、今後の進学に関しても後遺症がある人の進学先や、対応がまだ確立されていない点を改善して欲しい 医療費などの経済的な負担が少しでも軽減すると助かる
30代	3か月～半年	9は社長が内勤に回してくれたこと。  不便は、まず診てくれる医者が少なく、たまに居ても自由診療で高額なところばかり。保険診療の範囲で行える治療をする医師(平井光一医師など)は赤字で寄付を募っている。診てくれる医師を増やすには診療報酬のインセンティブが必要。また知見を集めて診療を体系化すべき。
40代	半年以上	質問内容と違う事ですが。私が罹患したのは、家族が高血圧の定期受診をした際の待合室か診察室での感染(医師も同時期に感染したと後で聞きました)、そこからの家庭内感染です。時間帯により一般診察と発熱外来が分けられているクリニックなのですが、一般診察時間帯の受診で感染。5類になりマスク緩和までされると家族の定期通院のたびに感染しそうな気がしてとても怖いです。

年齢	期間	
30代	1か月～3か月	なにを、いつ、したらいいのかわからない。どんな制度が使えるのかもわからない。
40代	1年以上	周りに打ち明けられず、支援がきちんと受けられない
30代	1年以上	通院するのに車が必要で、その費用がかなり高い
40代	半年以上	派遣社員だった為、途中で契約終了になり失業したのですが、国保の減免対象ではない為 昨年の年収で保険料がかかってきます。 年金と合わせると傷病手当の3分の1程度徴収され、更に医療費が掛かるのでせめて医療 費の補助が頂けるとありがたいと思います。 後遺症治療は漢方処方が多く高いです。(薬代だけで1ヶ月5000円くらいかかっています)
40代	3か月～半年	自費治療(漢方治療)が高額で、また完治まで一年掛かると伝えられ、経済的に続けられな かった。
40代	1年以上	レントゲンで肺には異常無し、コロナでは肺炎で入院したがおそらく血管など別のところの異常 だと思ふものの、医者が参考にすべきデータが少なかつたせいか方針が合わず、こちらとしても 喘息の薬ばかり出されてもお金の無駄なのでそこの治療は断念した。 治療の基礎となるデータを公が集めることが経済的な支援を減らす、合理的な行為だと思 います。
30代	1か月～3か月	検査キットが不足していた期間に症状があったため、症状が進んだ(1度目は陰性だった)時 点では再検査が不可能と断られ、正式な治療も支援も得ることができなかった。そのような ことがないように、常に検査キットを充実させて欲しい。
40代	1か月～3か月	明確な完治までのプロセスがない状態での5種移行はやめてほしい
40代	半年以上	扶養に入って居ても傷病手当を出して欲しい。本当に今家計は苦しい。中年なのに貯金も 無くなり親に経済的支援をして貰いとでも恥ずかしい申し訳ない思いをして精神的苦痛も 味わう羽目になっている。
30代	半年以上	医療機関でも知見や理解があまりなく、なかなか適切な診断、治療が受けられない。
40代	3か月～半年	現在、後遺症に有効であろうと言われている治療が、鍼灸やrTMS 漢方薬局での自費の 漢方など、保険適用にならない治療が多く 保険適用の受診のみでも かなりの負担にな り、自費の治療など、かかりたいのに 我慢しているものが複数あります。
30代	半年以上	治療できる場所が少ないし、医者自体が後遺症の存在を疑っている節もありきつい。研究も 思うように進んでないしそもそも国自体もそこまで研究費を投資する気もないのかいまだに治 療もちゃんとしたものはなくただただいつ治るのか分からない真っ暗闇を歩いているように思え る。経済的支援などもハードルが高い。
40代	1か月～3か月	田舎に住んでいる為対面で診てくれる病院が近くにありません 近くで後遺症を診てくれる病院があったらいいと思います
50代	1年以上	後遺症もある程度は公費で治療していただくと大変ありがたいです。全額とは申しません。 治療法はまだ見つかっておらず、多くの患者が生活に大きな支障を来し、生きることが精一 杯という人もいます。既存の治療薬・治療法の流用でも何か効くものがないか、何とか探し出 して欲しいと思います。
50代	1年以上	体が動かせないこと、全身症状であることから、入院して検査や有効とされる治療を集中的 に受けられるようにしてほしい。 働けないので、生活費や治療費、タクシー代や車椅子など通院手段の援助をしてほしい

年齢	期間	
20代	1年以上	歩行に関しては明確な治療がないので、自費診療で薬にもすがらないで鍼をやったりしています。車椅子のレンタル費用や様々な検査費用、働くことができないので医療費は全て両親から頂いています。費用の補助などがあればいいのにと強く思いますが、すぐには難しいと思うので政府にはコロナ後遺症の存在を周知してもらったり研究などを進めて欲しいです
20代	1か月～3か月	行政からの経済的支援がまずない。 後遺症で寝たきりの人が通院できるように行政が病院までの送迎をして欲しい。 家族で感染している家庭への家事支援、育児支援。 両親ともに寝込んだ場合、父親が何もせず寝ていて母親が40度の熱を出しながら育児をさせられる現状の改善。
40代	3か月～半年	罹患直後の東京都の対応は素晴らしかった。(薬代が0円、医師が数日おきに容態確認の電話をくれる。食料が届く)感謝しております。 ただ、長引く一か月ほどの痰の絡みから来る止まらぬ咳、これは抑えようがなく日常生活に影響がでます。また、何か月も続くぼんやりとした感覚。これがメディアで聞くブレインフォグなのかどうか自分自身で判断しづらい。(ぼんやりとしている最中に自分自身の症状を把握しづらい) 一年弱を経て、あれは後遺症だったと明晰になった思考回路で理解できる感覚です。
80代以上	1か月～3か月	5類になるとさらに不便に
40代	1年以上	医療費の補助
20代	1年以上	再発した時に毎回初診料を取られる 難しいとは思いますが、再発しないようにはできないのだろうか
10代	半年以上	中学校進学後がとても心配です。入院対象というわけでもないですし、本人にはやる気があるのに現実には挽回するチャンスが全くないのがとても辛いです。どうしたら回復できるのか、回復がゆっくりでも自宅にいても他の中学生と同じように成長していける道はないのか常に頭を抱えています。
10代	1年以上	・そもそも治療法がない。 ・現段階で比較的評判の良い治療、例えばグルタチオン点滴、鍼灸、整体、温熱療法が自費診療で経済的負担が大きい。 ・また健康保険の関係なのか、多くの病院を巡っても、体調不良の原因を調べるための検査を医者が中々してくれない。例えばウチは慢性疲労症候群の診断を受けたが、本来、慢性疲労症候群の診断を下すために最低限必要と言われている検査項目(厚労省「慢性疲労症候群の病因病態の解明と画期的診断・治療法の開発」研究班資料)でもやらなかった項目が多々あり、不具合の原因が何なのか未だに分からず困っている。 ・また、このような病態を扱ってくれる医療機関が少なく、近所がないので数時間かけて通わなければならない。また、対応してくれる所も非常に混んでいて予約待ちで数ヶ月かかる。 ・医療機関によりレベルの差が大きくある様な感があること。
40代	半年以上	感染後半年経つが、未だに耳鼻科で治療中で、治療代も結構かかっているし、月2回の通院も負担。
10代	1年以上	所得制限がある為、子供の医療費は3割負担で毎週オンラインでの受診である為相当な費用がかかった。今は診察してもらっていない。後遺症患者は全額負担を国でしてもらいたい。
50代	1年以上	治療費がかかります、2022年度は治療費38万ぐらいかからしました。仕事もコロナ前みたいに仕事が出来ないので減らします。

年齢	期間	
30代	1か月～3か月	後遺症外来が少なすぎる。病院に行っても理解してもらえない。 コロナ発症から2ヶ月なので、今月(2月)で有休を使い切るから、それ以降も休職になれば傷病手当を申請する事になると思う。 収入がガクンと減り住宅ローン返済や生活していけるか不安が大きい。 治療的支援、経済的支援、社会の理解が欲しい。 これから受けるEDの治療を受ける後遺症外来も増やして欲しい。
40代	半年以上	これだけ体調が悪いのに医者からは心因性としか診断できないと言われ、気休め程度の漢方薬しか処方してもらえなかった。きちんとした診療を行ってほしい。
50代	1年以上	近場の通院はタクシーを利用しているが 遠いとタクシー代が払えない 基本家族の送迎になるが、なかなかやりくりが 難しい場合もある
40代	3か月～半年	陽性確認後は介護も訪問看護も一切来ないので、面倒をみるのは私一人だった。ハースなどのシステムがあっても、家族が全て代理入力や対応をしている。行政は、同居家族をあてにしているが、療養期間明けは、70代の親よりも、自宅で介護をしていた私の方が後遺症が酷い状態になっている。解熱剤や咳止めなど薬が不足しているので、投薬や通院回数を小刻みにされたが、医薬品の確保は前もって国がやってほしい。また、それぞれの波が来るときに、どういう症状が多くみられているのかは国がきちんとアナウンスしてほしい。
30代	半年以上	傷病手当がなくなった後、手当がなくなった後も仕事に復帰できない時のために経済的に支援をして欲しい。
40代	1年以上	日本ではME/CFSは難病指定されておらず、医学書にも載っていないので医師のほとんどが知らない。 難病指定と経済的支援が必要。
30代	3か月～半年	病院に断られ、自由診療を求めしかなくなっており月々の医療費で生活が非常に逼迫しています。昨今の値上げで医療にかかる費用を捻出することもままなりません。後遺症は経済活動に非常に影響します。どうか、コロナ後遺症患者に対して支援金を求めたいです。もちろん民間の医療保険に加入していましたが、サポート対象外になって保険もありません。コロナは人類初めての疫病でまだ治療法も確立されていません。その事を、無視しないでほしいと思います。ますます今後は医療逼迫で医療にかかれぬ人も増えるはずで、弱者救済制度をきちんと整えるべきだと思います。
30代	1か月～3か月	コロナ後遺症について、どの病院に相談をしたら良いのかわからない。近隣の通える範囲には探しても見つからなかった。
40代	1年以上	疲れ果てて仕事を辞めたいが生活保障が全くない。
70代	1か月～3か月	西洋医学では、コロナ後遺症について、カテゴライズすらしていないので、治療につながらない。
40代	半年以上	島根には未だに後遺症を診てくれる病院は1件でしかも怪しい。ネットでなんとか東京の病院でオンライン診療を受けられ薬で症状は多少改善したが、電話診療なので先生の顔を一度もみたことがないし、検査なども受けることはできない。地元のかかりつけ医に後遺症で〇のデータがほしいとお願いしても鼻で笑いと必要ないと検査してもらえなかったこともあった。全国各地でも同じような医療を受けられるようにしてほしい。 コロナで経済的なダメージがあったら補助するシステムはあっても、後遺症で補助してもらえるシステムはみたことがない。相談してくださいといろんな機関をたらい回しにされる。

年齢	期間	
30代	1年以上	<p>■障害者手帳について 障害者手帳が無いと、福祉サービスを受けられません。しかし、障害者手帳の診断書を書いてくれる医師がいません。 最近ようやく診断書を書いてくれる医師を見つけ、書いてもらって審査がありました。しかし、部分的な機能だけで審査されるので、医師の診断では下肢3級上肢3級総合2級の診断だったのに、審査が下りたのは下肢上肢6級の総合5級でした。 たしかに、部分的に見れば下肢上肢の機能としては6級かもしれません。けれど、総合的にみると、ほぼ家から出られず、通院のための外出や入浴が困難である現状があります。症状と審査等級が釣り合っていない。コロナ後遺症およびME/CFSのための審査等級が必要だと思います。</p> <p>■経済的な支援が足りない 障害年金2級をいただくことになりました。これはありがたいのですが、月10万円程度では生活できません。動けず、ほぼ寝たきりなので、満足に働くこともできません。 もっと経済的な支援をお願いしたいです。</p> <p>■インボイスが不安 フルタイムで働けないので、単発でリモートで出来るお仕事をもらっています。しかし、月に20時間程度働けたら多い方です。お仕事をもらうための営業も必要です。ここに、インボイス制度が増えると、更に収入が減ったりお仕事が減ると思います。 また、ブレインフォグの症状があり、複雑な制度の理解が出来ません。</p> <p>■どんな福祉サービスがあるか分からない 障害者手帳をもらって、ようやく行政も動き出してくれました。しかし、まだまだどんな支援があるのかも分かりません。</p> <p>■一番つらい時に行政サービスが受けられない 現在も体調がつらいのですが、一番症状がつかった時には障害者手帳が無く、支援がありませんでした。支援が無く、無理をして自分で身の回りの家事をした結果、体調が悪化した自覚があります。</p>
60代	半年以上	私はコロナ後遺症で職場を退職し、無収入になります。動くこともできず妻の介助で生活しています。これからどうして生活していくか不安であり、障害者手帳交付など支援制度が必要です。
20代	1年以上	Bスポット療法を含む後遺症の治療可能な病院の増加が必要
40代	1か月～3か月	コロナ感染者とコロナ回復者との乖離
60代	1年以上	後遺症の治療してくれる医療機関が少ない。 医療機関が後遺症に対応する為の知識が必要。
50代	1年以上	一般の内科では診てくれない、保険診療で診てくれる病院はとても混んでて予約が取れない。大学病院の漢方外来に通っていて自費診療、漢方代に毎月3万円以上かかります。
60代	1年以上	症状が他の病気と似通っており、コロナによる症状と特定できないのが問題だと思います。
50代	1年以上	後遺症と証明するのは、患者には無理だ、そして動けない。コロナの検査して陰性ならば放置その繰り返しだ、死にはしなくても苦しい。
20代	半年以上	医療が後遺症の実態を把握していないため、例えば倦怠感など明確に検査で異常が出ないと心因性扱いされ(精神科で特に精神に問題はなさそうと診断済)、適切な生活指導や医療対応などが受けられず、たらい回し状態になりました。労作後倦怠感を有すると通院の負担で容易に病状が悪化するので診療ガイドラインを早期に策定して、1,2,3次救急が何をするのか/しないのかの立場を明確にしてほしい。
30代	1か月～3か月	医療を受けられないこと
40代	1か月～3か月	このレベルで後遺症であるのかどうか、受診の判断基準がわからない

年齢	期間	
30代	1年以上	医師にも後遺症に対する知識が足りないものが多くなかなか有効な治療に辿り着くことができない、治療費が嵩み途中で断念せざるを得ない
30代	1年以上	後遺症の症状が様々のため、地方だとどこにかかればいいのか分からない。全体的に診ていただける病院があれば良い。
50代	半年以上	後遺症を理解してる医者が少ないので、いろんな病院に行かなくてはならない。出費も増える。
30代	1年以上	家事ができない、子育てができない、治るかもわからない治療に実費がかかりつづけることがとても苦痛。家事のサポート、子育てサポート、コロナ後遺症治療の医者同士のネットワークの強化必要。
30代	3か月～半年	医療費はかかるものの、収入が減り、貯金を使いながら治療中。 お金がいつまで持つかという不安もある。 子どもがあり、4月から保育園に通わせるので、保育料が払えるか不安。 昨年の収入はあるのでおそらく毎月6～7万の保育料がかかる。 療養者は保育料減免等の措置があるとありがたい。
50代	半年以上	年齢的に介護保険を利用できません。障害年金も対象外ですし、障害者認定も受けられません。 制度の狭間にいるのが、後期高齢者に至らない働く世代です。 また一人暮らし世帯への保障がありません。 子育てにお金がかかるのはわかりますが、いつも悲しくなります。独身は自己責任で！と言われてる気がして。
10代	半年以上	本人を連れて通院出来る病院には限度があり、その中で後遺症外来を県のホームページで探し受診したが、後遺症はそもそも存在しないと精神疾患と言われた。かなり落ち込み数ヶ月何も出来ずいたが、都内でオンライン診察を行っている病院を見つけて現在通院(オンライン)近くなれば顔をみて診察を受けより良い処方を受けられるだろうけれど都内まで通える体調ではない。オンラインで診てもらえる有り難さは勿論ですが、その分自費でシステム利用料金が毎回必要となり、対面でない為処方は1週間分、毎週の受診となり支払いもかさみます。通院しているクリニックには感謝しています。後遺症を親身に診てくれる病院に国から支援があればと思います。
10代	1年以上	コロナ後遺症に有効とされてる治療(西洋医学(rtmsや保険外適用処方薬)、特に東洋医学 鍼灸・整体)に対して保険が効かず殆ど自費となる事！！
80代以上	半年以上	防衛費に何兆円も出すお金があるなら、国民にもっと分配して、デフレを脱却すべきです、20年ほど逆のインフレ政策ばかりして、今こそ国民の所得を引き上げ、大幅に減税し、財源は国債で賄い、国債は、市場に流れるもので、一部の専門家の間違った認識で借金扱いしてますが国債発行は悪ではありません、税金が財源という考えは、経済学すこし勉強すれば違う事がわかります、デフレは減税、インフレは増税と調整するための施作です、議員も経済の仕組みをもう少し勉強なさってください、まずは規制緩和やりすぎたものをやめて、海外からの需要を止め、国内需要を増やして、減税する仕組みを本気で取り組む、国民の所得を上げる、これをしないとデフレは脱却できません
20代	1か月～3か月	発熱外来を断られたまま医療機関にかかることができなかった。家族全員そうだったので、発症しても適切な医療機関にかかれるようなステップがほしい。
60代	1年以上	定年退職後の年金生活者なのでなんとかなったが、在職中の年齢の方々は、実に大変なことと思う
40代	半年以上	公務員なので病休からの休職で何とか経済的にはやっていけるが、このまま長引けば経済苦になってくる。後遺症を診察してくれる医療機関が近くになく治療費もかさむが交通費がかかる。(山口県から福岡県に新幹線で通院)

年齢	期間	
30代	半年以上	少なくとも罹患リスクをへらすための対策は続けて欲しい(マスク着用等のルール) そうでなければ度合いによっては補償が欲しい。
30代	1年以上	後遺症に対して何の支援もありません。長期間治らないので現在は収入が0です。
50代	3か月～半年	オリンピック開催中だったため、感染が分かっていても解熱剤のみでした。産業医が咽頭痛で検査してくれたのは良かったと思います。 隔離期間が終わってすぐ転勤(予定されていた)になり、症状が続くため病院を受診したら、肺炎と胸膜炎と言われたそうです。後遺症に理解がある病院のおかげで今は元気になりました。 早期診断と早期隔離と早期治療は感染症対策の基本です。
40代	1か月～3か月	仕事上の感染ではなく、日常生活でどこから感染したかわからないため労災傷病手当対象ではないですが…。 治療を受けようとしても、複数の症状があり何科にかかればいいのかかわからない。田舎に住んでいるため、どこに相談したらいいのかかわからない。民間の医療保険の対象になるのかもわからない。また、後遺症については医療費負担が一部自己負担になるため、後遺症により退職に追い込まれたり非正規労働者子育て世帯の患者にとっては特に経済的負担がかなり大きく病院に行くことを躊躇している方も多いと感じる。
40代	半年以上	パートで失業。支援も何も受けられなかった。後遺症は受診すると保険の点数が低いから嫌われると聞かし現にみてる病院も限られる。全て自分で何とかするしかない。
50代	1年以上	2年前はまだ初期の頃だったからか なかなか理解のある親身になってくれる医師が近くにいませんでした。 後遺症外来とうたっていても、知識がなく 間違った指導をするところもあって 精神的にも身体的にもダメージ受けました。  労災の申請が大変でした。 具合悪く、書類を記入したり、自分で調べなくてはいけなかった事や 職場の上司から労災は無理だと言われたこと。 もっと安心して治療や生活が出来るように 支援についてオープンにして欲しい。
30代	1年以上	経済的支援が足りない
30代	半年以上	毎日多くの方が亡くなり、タミフルのように有効な薬が開発されたわけでもなく、後遺症に対する治療法が確立されたわけでもないのにコロナ対策をお終いにするような声明を出すべきではない。 医学的、科学的にマスクは有効と結果が出ているのにも関わらず、声の大きい個人の意見を聞いて根拠なくマスクを取ることを推奨し、尚且つ三密は守るようと矛盾したことを言わないでいただきたい。 またコロナウイルスの流行は起きるのだから高齢者や子供、持病があったり、マスクができない障がいのある人を守りつつ経済が停滞しないよう一人一人がみんなの為にできる限りのことをするよう促すべきだと思います。
30代	1か月～3か月	病院は疾患の有る人が居るところ、という大前提が無視されたまま5類になったら、どこの病院がコロナをみてるのか？
20代	1年以上	傷病手当金は一年半を過ぎると受給できなくなります。せめて後遺症の医療費を無料にするなど経済的支援が無いと生活が出来なくなります。
40代	1か月～3か月	自分は自宅で抗原検査を行ったが失敗し正確に判定出来なかった。しかし自分以外の家族全員が陽性判定出ているので状況から自分もコロナだったことは明らか。ただそれだと陽性登録出来ず支援も受けられない。

年齢	期間	
40代	1か月以内	後遺症を認定する為にPCR検査が必要だが体調が悪い中病院に行くのが辛すぎた。PCR検査キットを流行期に各家庭に配って欲しかった
20代	3か月～半年	すぐに行ける後遺症外来があると助かる。
30代	1年以上	通院する体力がないので、往診やオンライン診療をもっと充実させて欲しい。特に、Bスポット療法を往診でしてもらいたい。 車いすを乗せられる車を購入する補助金が欲しい。
30代	半年以上	これから下手したら生涯にわたり薬を購入し続けなければならないので何らかの経済的支援がほしいです
30代	半年以上	Bスポット治療は回数が必要なため治療費がかかる
40代	1か月～3か月	抗ウイルス薬はじめ治療薬が処方されないことが1番不安
20代	1か月～3か月	短時間労働しか出来ない人にも支援が欲しい。傷病手当をもっと早く受け取りたい。
30代	3か月～半年	後遺症と判断した際にすぐに給料の補償がある程度ほしい。薬代や診察代はたった半年で20万越えています！！
50代	1年以上	トンデモ系後遺症外来が乱立し始めている。新型コロナウイルス感染後遺症、及び、新型コロナウイルスワクチン後遺症について、政府は正式に認め、救済対応施策(保障・労災、経済支援、医療・研究支援、臨床現場レベルの医療体制)を至急実施すべき。
50代	半年以上	傷病手当などまだお願いしてませんが、希望します。
30代	1か月～3か月	コロナ感染とコロナ後遺症が全く関連付けられておらず、ただの対処療法に留まっていること。そしてその治療費やその影響で仕事に出た影響などは自己の責任負担となるにも関わらず、国が感染拡大の防止を阻害するような方針(政治家によるマスク不要宣言など)を打ち立てたことは問題であると思います。
30代	1か月～3か月	特になし、薬は無料でありがたかった
50代	1年以上	治療法が確立していない為、複数の治療所で自費診療になる。交通費も自腹。体調が辛い時のタクシーも自腹。
40代	1か月～3か月	後遺症とは認めず精神的なものとして精神科を受診するように促すお医者様がいました。
60代	3か月～半年	医療費に莫大なお金がかかっているのを援助して欲しい
40代	1年以上	理解ある病院の増加が不可欠
20代	1年以上	後遺症がそもそも認められてない。
40代	1年以上	後遺症を理解する医師が少ない
30代	1か月～3か月	私の場合は鼻からカメラを入れて喉を見たり、レントゲンを撮ったりしたので地味に医療費が高くて辛いです。
50代	1か月～3か月	コロナ後遺症やワクチン後遺症を、そもそも認めてくれなかったり、皆が初めての病気だから未知のことが多く、多くの後遺症患者を診て研究してくれている先生に頼るしかない現状。医療機関を支援して、もう少し積極的に救済の道をつけてほしい。

年齢	期間	
30代	半年以上	医師の理解が病院によって異なること。「後遺症外来」と言っても治療を続けたにも関わらず、良くなないと「PMSではないか」「心因性ではないか」「僕は専門家じゃないから分からない」と匙を投げられました。明細をみると点数はしっかりつけていて、コロナ関連の点数稼ぎのように感じます。また治療にはお金がかかりますが、保険対象外の出費が毎月あります。働けない状況で不安を感じます。
20代	1か月～3か月	学生なので、お金が、 そのため有効な治療ができず、長引き、慢性化するという悪循環が、
20代	1年以上	後遺症の治療費がかなりかかっている
30代		治療方法についてどの病院の先生も手探りなのはわかりますが、情報交換などの場はあるのでしょうか。
30代	3か月～半年	一日二日の休みでも有給消化しなくてもいい制度。難癖(コロナは関係ないとか言わない)付けずに手当が支給される制度。
30代	1か月以内	補償は出してほしかったです
40代	1年以上	循環器の専門医不足で、なかなか診察及び精密検査にたどりつけないこと
40代	3か月～半年	薬の流通がままならないので、一度に処方される量が少なくて、何度も診察に通う必要があるのが不便。製薬メーカーへの支援をお願いしたい。
30代	1か月～3か月	タミフルのような特効薬がない。風邪やインフルエンザのように1週間で回復しないため、日常生活への支障、経済的な打撃が大きいのに支援がない。
10代	半年以上	検査や診察料が高く保険が効いて欲しい
30代	1か月以内	傷病手当が受けられないこともあるため(不当ですが、体調不良を抱えた個人で企業や勤務先に働きかけるのは難しいと思われる)、経済的に不安定な家庭には支援が行き届いてほしい。
40代	半年以上	認定されない故に経済的に大変な思いをしている人が沢山います。 サプリな鍼灸など、ひとつひとつは高額でなくても、仕事をしたくても出来ないまま長期となれば当然生活を圧迫し、症状を悪化させるか一文なしになるかの二択を迫られている状態です。 安心して治療に専念出来る環境が与えられない以上、症状も良ならず悪化するばかりで、きっと先の見えないしんどさや鬱などで死を選ぶ方も増えてくると思います。
40代	1か月～3か月	かかりつけ医では診療してもらえず、医療機関を探している。医者の中にももう少し診てもらえる人、増えてほしい。
30代	半年以上	オンライン診療では一週間しか薬が出ないのが不便。通院の負荷により悪化するし、直接病院に行けないほど具合が悪い時もあるので、一ヶ月分ぐらい出るとありがたいです。
30代	3か月～半年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・治療費の3割負担は経済的に厳しいです。(現在月3万円程度の自己負担)</li> <li>・税金の減免制度が適応されず支払いが厳しいです。</li> <li>・早急に治療法を確立して頂きたいです。</li> </ul> <p>貯金が尽きたら生活保護を受けるか、自殺することも脳裏を過ぎることがあります。</p>

年齢	期間	
40代	半年以上	頭に電磁波を当てるTMS治療 や有効と思われるサプリメントや鍼灸が自費であり、月に数万円かかっているため、治療費用をなんらかの形で援助してほしいです。  また、私は体が動くようになりましたが、パソコンをすると吐き気や頭の痺れ、目の痛みなどが生じ、まだ復職できていません。 仕事を辞めざるをえない方が私のような状態だと、障害年金ももらえず、収入が途絶えて困ってしまうと思いますので、障害年金や失業手当の範囲を広げるなどの支援が、必要だと思います。
20代	3か月～半年	コロナ患者・後遺症を扱える病院が本当に少なく治療を受けること自体が困難でした。 仕事を休んだ際の経済的支援はやはり必要かと思えます。
30代	1か月以内	陽性の場合は検査料も公費扱いにして欲しかったです。
40代	1か月～3か月	まず発熱外来が少なく、診療に繋がらない。受診していないと休職や保険の対象にもならないことがある。自宅療養というのなら、そのサポートがほしい。貯蓄のある方ならまだいいと思うのですが、正直氷河期世代の人間は年収も貯金も低い人間が多いので、もう生きるか死ぬかの選択になるのではと思うほどに不安に襲われる。
30代	3か月～半年	後遺症と診断されないので支援がなかった
50代	1年以上	働けなくなり経済的に厳しくなり、医療費が加算で更に家計を圧迫しています。
40代	半年以上	労災認定を受けて居るが、給料の八割では物価高騰の現在では生活困難。長期後遺症患者には国からの支援が必要だと思う。
10代	1年以上	後遺症外来といっても医師の後遺症に対する認識が違いすぎて(後遺症なんてないという医師もいる)患者は色々な医療機関に罹らないといけない。医師の後遺症治療に対する認識が広まってほしい。
40代	半年以上	金銭的に負担が大きいのでそのあたりを何とかして欲しい。
70代	3か月～半年	症状が軽度だったため自宅隔離で逆に放置状態。幸い大事に至らなかったが、近親者も毎日看病は出来ない。自治体による手厚い医療ケア体制が必要。食事、薬など。
10代	1年以上	中学生なので病院にかかる分には子ども医療証で無償でうけられるが、鍼灸や整体などの自由診療は実費負担なのでつらい。
40代	半年以上	後遺症外来をオンラインを含めて3件受診しましたが、コロナ後遺症は原因不明で治療法がないため、自宅で無理をせず、寝ていて下さいと言われ、治療はありませんでした。 後遺症外来で有名なクリニックに望みをかけてオンライン受診しましたが、現代の医学では治せないと言われて、本人の精神状態も悪化し、希死念慮が強くなっただけでした。 寝たきりで食事もとれなかった時に、救急車を呼びましたが、コロナ後遺症というと、救急隊の方にも笑われ、どこの病院にも受け入れてもらえませんでした。 寝たきりで、クラッシュの危険もあるので、通院はリスクしかない判断して、今はどこの医療機関にも繋がっていません。 結局、治療法がないのですから、病院に行っても仕方がないのだと思います。 医療から見捨てられた思いです。 現在、休職中ですが、良くなる見込みもなく、休職の期限が迫るのをただ寝たきりで待っているだけです。期限がくれば、退職せざるを得ません。収入は家族の年金だけになり、とても暮らしていきません。 障害年金の受給も考えていますが、慢性疲労症候群での受給も難しいようで、コロナ後遺症では無理なのではないかと思っています。

年齢	期間	
40代	3か月～半年	コロナ後遺症を扱っている医師が市内にほとんどおらず、扱っていたとしても症例を多く知っているわけではなく、また、治療法もはっきりしていないので、特に改善の兆しがなくても受診しつづけてはならないので困っています。 漢方薬も保険適用とのことですが、一日300円かかり、収入がないのにこの金額は続けられません。
30代	1年以上	治療薬がないので、いつ治るのかわからない不安が大きいです。治療薬の研究をすすめてほしいです。経済的な不安は、後遺症に対しての医療費補助がないことです。
50代	1年以上	後遺症からME/CFSに移行し、専門医がない。 複数の病院で色んな治療を試み治療費を貯金から崩している。
20代	1か月～3か月	コロナ後遺症は鍼灸、整体含めて全て保険適用にして下さい。
30代	1か月～3か月	コロナ後遺症外来の存在を知らなかったため、それを友人がおしえてもらえてたすかった。まともな対応を、耳鼻科ではしてもらえず、風邪ではない症状なのに、風邪ときめつけられ、治り方もわからず、しにそうになった。  コロナ後遺症発症した人にとっては、情報を知らないことでとても苦労するとおもいました。
40代	1年以上	収入が減るのに 病院代は莫大。
10代	半年以上	内科への通院の他に、鍼灸にも通っているが、保険適用外なので経済的に負担が大きい
30代	1か月～3か月	後遺症についての情報はLINEのオープンチャットで仕入れました。周囲でも症状が残っている人もいますし、私だけじゃないんだと思いつつも、「どうしたら治るのか」試行錯誤しています。後遺症の治療支援もないため、自宅療養(食事やビタミン)を続けています。体調を整えるのに経済的支援が欲しいです。
40代	半年以上	会社に理解されない。治療が受けれる病院でも、出ている症状の対応しか出来ない。後遺症と判断されてもつらさが理解されない。
40代	1か月～3か月	私より長い期間、重い症状に苦しんでいる人をネットで沢山みかけます。そういった方への援助が必要だと感じます。
30代	半年以上	病院で治らないから、鍼や整体にいきます。その治療費は一回あたりかなり高額です。鍼、整体の治療費も月額の治療費として認め、月額治療費の上限を国がきめて、それを上回る場合は補助をだしてほしいです。
30代	半年以上	医療費もかかり、傷病手当も少なく生活が苦しいので国からの支援が少しでもあればいいと思いました。お金の心配でストレスが本人も強いと思います。
50代	3か月～半年	後遺症が労災医療機関でも保険適応になりません。休職して退職となったので、2.5ヶ月間無収入でしたが、医療費の出費が負担でした。又、後遺症を診てくれる、知識がある医師が一部の為、手探りであちらこちら通院していますが、これで良いのか症状がバラバラと出るの不安です。
30代	3か月～半年	後遺症というと診てくれない、知識がない病院がある。貯金で暮らすしかない現状
40代	1年以上	訪問看護が必要なくらい悪いときも3割負担で何も公的支援を受けられませんでした。

年齢	期間	
10代	半年以上	私立高校で、所得制限のために、全額自腹で、払わされている。何の補助も無い！児童手当も無いし！何が大阪は高校は無料化だ！嘘ばかり！あちこち病院へかかっており、治療費、投薬費用が凄い。家計を圧迫している。子供は国の宝じゃないのか？子供の医療費ぐらい500円を高校までは適応してほしい！我が子はずっと3割負担！今月はお金がなくて、病院受診を諦めた。
40代	半年以上	具体的な治療について、情報が少ない事 社会的理解が希薄なこと
10歳未満	1か月～3か月	通院、受診、薬代など、経済的な負担が大きい。
40代	半年以上	とにかく、治療してもらうにも移動手段でお金、保険外の治療代、何もかも全てお金が必要なのでとにかくコロナ後遺症の経済的支援をお願いしたいです。
50代	半年以上	傷病手当は最大1年6ヶ月まで支給されますが今のままではおそらく寛解までもっと時間がかかるかと思われます。収入がなくなるのは辛い状態です。
30代	半年以上	コロナ後遺症に詳しいクリニックや外来病院への接続の悪さ(長野県では公的サイトでも具体的な案内はなかった。各都道府県の後遺症外来をまとめたサイトはあったが情報が薄く、体調が悪い中そこまで行って効果があるのかなど信じていいか不安があった) 傷病手当金申請のために通院が必要であることの周知(かかったクリニックが専門でもなく、治療法はないから寝てるようにといわれ休職中寝てるだけだったのでその後給付金申請のときに苦労しました。) 治療情報の周知(見かける記事の多くが記者のコロナ後遺症の実体験、また積極的治療をしているクリニックのコメントのみで、世界でどれくらい研究が進んでいるかとか他の医師の意見とか見かけなかった) 治療費と生活困窮へのサポート(傷病手当金の支給までブランクがあるので貯金がなければアパートを追い出されるところだった)
30代	1年以上	現在治療が確立していないぶん、TMSなど保険適応にならないものが多く、自由診療で受けてらっしゃる方もたくさんいらっしゃいます。 私は金銭的に難しく対症療法しか受けられていない状況なので、効果が期待できるものならば保険で受けられるようになればと思います。少しでも早く治療法を確立していただきたいです。 また、後遺症が障害年金の対象にならないことも問題だと思えます。社会生活や日常生活もままならない後遺症患者がたくさんいることに目を向け、治療費を含めた経済的支援をしていただきたいです。
40代	1か月～3か月	どこの診療でも、おそらく後遺症だと言われるが、対症療法しかない。 総合的にみてくれる診療科がないため4か所の病院に通っていて大変。
40代	1か月～3か月	そもそも後遺症ではないか見てほしいと発言すると医者に呆れられるのが精神的につらかった。 ほとんどの医療機関がコロナ後遺症を信じておらず気にしすぎと言われるし、コロナ後遺症では無いという前提で各科ごとの標準治療をされるだけに終わった。 様々な症状を併発したり合併する後遺症においては体全体を総合的に診察してもらう必要があるのに、実際には内科耳鼻科循環器科脳神経精神科などそれぞれ個別の医療機関が連携することなく単独で診察と治療を行うため、何種類もの病院に行くことになり、自分の専門部分のことしか分からないと言われ、病院ごとに出されたたくさん薬を飲み、初めて飲む薬に対し副作用が出たとしても、同時期に色々な薬を飲みすぎていて最早原因を特定することが出来ず、それが原因で新たな身体不調が出ることもあった。まさに二次的な被害です
40代	1年以上	治療に関しては医師の理解が必要であり、後遺症を精神的な物で終わらせる医師がおり、かなり参ります。社会全体で理解してくれる事を望みます。あと経済的に支援があってほしいです！

年齢	期間	
30代	1か月以内	傷病手当の案内 会社からもなかったし(同僚が教えてくれた)、市や医者からもなく、報道でも聞かなかった。
50代	1年以上	生活困窮支援(治療費生活困窮支援)
30代	1年以上	様々な医療機関に掛かる必要があり、治療費が高額になるので傷病手当のみでは不十分
50代	半年以上	コロナで報酬が減り、昨年2月末に感染して春先に所得が激減したため持続化支援金や事業復活支援金でなんとか減った所得を補っていました。生命保険の入院給付も助かりました。 この先は、感染しても、後遺症で仕事が減っても保証がないため非常に不安です。無理して働くしかないのかと思っています。
50代	1年以上	医者が👉の後遺症について理解がないように思います。
10代	1年以上	まともな治療ができる医療機関がほぼない、説明すらされていない、生活費がないことの不安を解消する支援がない
40代	1年以上	問5で記入したように2020年4月というコロナ禍初期の感染です。 個人事業主なので労災や傷病手当もなく、その後現在に至るまでほぼ休業状態のため、持続化給付金や一時・月次支援金等だけが頼りでした。それらが廃止された今は元職場が軽作業アルバイトとしてやとってくれる時間給の収入だけが頼りです。給付金の申請など、ブレインフォグがある状態では難しいこともありました。この3年間で失った、稼げるはずだった労働報酬はもう取り戻せません。インボイス制度も始まってしまし、老後のことも考えないといけないのに、とても不安です。
50代	1か月～3か月	私は地元耳鼻咽喉科のBスポット療法に対応している耳鼻科があったので、それをメインに鍼灸にも通い、どうにか治りましたが、Bスポット療法を施術できる耳鼻科が少ないことを改善してほしいです。また、後遺症の治療に尽力してくれている良心的な医師たちに、相応のお手当を考えていただきたいです。
40代	半年以上	治療法を確立してください
50代	1年以上	上がった物価は、なかなか下げづらいならせめて、消費税を無くして！
20代	半年以上	咳と痰が止まらない、胸の痛みもずっと続いてきついです。
70代	1年以上	医者は後遺症を認めない。後遺症がこんなに出ているのに、まだこんなものを推進している。税金の無駄遣いやめろ。補償しろ。非接種者の人権を蹂躪し続けた責任を取れ。ワクチンだけでなくマスクの害を認め、すぐにマスクを禁止しろ。
40代	1か月～3か月	後遺症を診てくれる病院が近くに無い、後遺症と認識されない
50代	1か月～3か月	治療法を見つけてほしい。 財政支援をして欲しい。
40代	1年以上	長期働くことが出来ない場合は、経済的な支援が必ず必要。
20代	1か月～3か月	土日や年末年始等の受け入れ先が少なく、受診先を探すのが大変(自治体の情報を見ても実際は受け入れていない場合がある、断られる) 自治体によっては支援を終了しているため一人暮らしの自宅療養では十分な物資や経済的支援が得られない

年齢	期間	
40代	1年以上	コロナ後遺症は実際にあるという認識をすべての医師に持ってもらうところから始めなければいけない。コロナ後遺症治療の第一人者であるヒラハタクリニックの平畑医師は自身のこれまでの治療法などを無料で公開し賛同の医療機関も募っているがまだまだ足りず一部の医療機関に多大な負担がかかっている。どこで受診してもきちんとした治療を受けられるようにしてもらいたい。
40代	1年以上	寝たきりだったためオンライン診療だったのですが、労災で交通費は請求できるのにオンライン通信費は請求できず負担が辛かったです。
50代	半年以上	国からの援助が欲しい
40代	1年以上	治療が必要だがもともと鬱病で外出できず、経済的にも困難なためできていない
30代	半年以上	間もなく退職して、傷病手当を申請予定です。 体調が悪く、動くとすぐ疲れたり、人によっては頭を働かせるのに困難があったりする状態なのに、申請手続きの煩雑さが変わらないのが辛いです。もっと支援にアクセスしやすくしてほしいです。
10代	1か月～3か月	治療費が実費であること、複数の病院に通ったが確実な診断をつけてもらうのに時間がかかったこと
50代	1か月～3か月	治療について、抗ウイルス薬の処方になかったので、高熱が3日続き咳症状が酷かった。発熱して医療につながるまでに時間がかかり過ぎる。
20代	半年以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国民健康保険には傷病手当がないため、就労不能状態になったときに自営業者が受けられる支援がありません。コロナ後遺症のための経済支援が必要だと考えます。</li> <li>・治療には大変お金がかかります。就労不能+毎月の治療費のために、生活が立ち行かなくなる可能性があります。治療費の補助を求めます。</li> <li>・コロナ後遺症は点数が低いため、診る病院が少ないと聞いています。もっと増えてほしいです。</li> <li>・医療機関においてさえもコロナ後遺症の認知度が低く、話が通じないどころか症状を否定する医者さえいます。認知の拡大を求めます。</li> </ul>
20代	半年以上	給付金
50代	1か月～3か月	仕事を休んで病院に行けない
50代	1か月～3か月	後遺症全体を診てくれる病院が近くにない。探すのに苦労した。
20代	半年以上	PS7で寝たきりのとき、自治体(山形県)と厚生労働省の窓口に医療機関の紹介をお願いしたが、断られ、ヒラハタクリニックのオンライン診療だけが救いであった。オンライン診療ではできない検査をしてもらえないかと地元の医療機関に相談したものの、ほぼ全ての医療機関から断られ、中には嘲笑う医師、看護師、受付もいた。国の救済制度による医療費と障がい年金を申請しようとしたところ、認められる可能性が低いと担当者に言われた。国の要請で接種したワクチンで20代の大学生が寝たきりとなり、休学を強いられる状況に陥ったにもかかわらず、あまりにも対応が悪くはないだろうか。
40代	半年以上	地方の田舎なので、後遺症外来が一つしかなく、10月に予約して受診が2月末で長期間待った。 漢方医を頼り免疫をあげて自分でできる事をするしかなく、治療に時間がかかっている。 病院に長期間通い、薬代が高くなっているため支援がほしいです。鍼灸など保険がきかない治療もしています。
20代	1年以上	専用の用紙に医師の記入が毎回必要だが、毎回費用がかかる お金をもらうためにお金がかかる

年齢	期間	
30代	半年以上	働こうとしていましたが、後遺症症状がいつ出るかも分からない状態では本当に不安です。後遺症についての受診費用を負担する事や、思うように働けない事への補償、あとは本当に後遺症の実態を世間や医者が理解して欲しい。
10代	1か月～3か月	治療できる病院を増やしてほしい。 後遺症への理解がほしい。
50代	1年以上	役所に相談してもいろんな部署をたらい回しにされ、支援を受けられず解決に至らなかった。支援に関する知識を把握している窓口があれば助かります。
10代	3か月～半年	コロナ後遺症の学生に特例措置や何かないと留年、退会となる。 教育委員会としての措置は何かないのか。
30代	1か月～3か月	ワクチン後遺症が存在することを公に認めないところ
20代	3か月～半年	民間保険だけでは足りないことも多く、国から何か支援があればと思います
20代	半年以上	コロナ後遺症に対して会社での理解がない、完治まで時間がかかるが、休職満了になると退職になってしまうためキャリアが中断されてしまう。または無理してでも復帰せざるを得ない。
10代	1年以上	後遺症治療の医療費助成が必要だと思う。鍼灸、整体などでも保険診療が可能なようにしてほしい。
30代	1か月～3か月	コロナ後遺症は様々な症状が出るのが特徴だから、どこの大学病院にも後遺症外来を作ってほしいし、地域の先生方も勉強をし、もう少し理解を示してほしい。後遺症外来以外の病院に行って検査して異常がないとそれで終わりになってしまう先生に困られてしまうのが本当に辛かった。
40代	3か月～半年	病院や医師によって対応に差があり、何箇所か病院をまわり費用がかかりました。今通っている医師の処方が適切なのかもわかりませんが、毎日漢方を服用し、2週～3週に一度通院し、費用がかさんでいます
30代	1か月～3か月	後遺症だと言っても後遺症だという確証はないとこのことで後遺症とは認定して貰えないので、経済的支援は何も無いです。
50代	1年以上	初期のPCR抑制期間中の感染者への保証があまりにもひどすぎます。 後期から後遺症診断で労災を受けれている人と比べると、雲泥の差が出ています。 あまりにも、この状態は酷すぎます。
30代	半年以上	コロナ後遺症の理解がなさすぎる自分がなればわかると思うが本当に辛い・・・ 金銭的に助けてほしい入院レベルでヤバイのに放置される側の気持ち考えたことありますか ??
10代	半年以上	そもそも適正な治療が無い
50代	半年以上	介護などの際、腕に力が入りにくく思うように動けなくなった。
70代	1か月以内	ただちにワクチン接種をやめてください。

年齢	期間	
50代	3か月～半年	①新型コロナ肺炎を診療する医師は、新型コロナ後遺症を理解していただきたい。(例:発熱外来の医師がコロナ後遺症を理解していなかったため、結果的に後遺症症状ありで職場復帰してしまいました。早すぎた職場復帰が原因でクラッシュ(1週間寝たきり)、医療機関の受診を待つ間に離職となりました) ②後遺症を診療できる医療機関を増やすこと。 ③後遺症で離職した人に経済的支援が必要です。すぐに働ける状態でない人は、雇用保険の基本手当を申請する資格もありません。例えば傷病手当金の継続給付でも受けていないと、困窮にさらされます。
10代	3か月～半年	後遺症外来がないこと
50代	半年以上	コロナ後遺症外来の専門医から聞いた話によれば、コロナ後遺症を診察しても、手間と時間がかかる割には風邪と同じ診療報酬、点数だそうで、やりたがる医師がいないとの事。その為に、専門外来に集中してしまっているとの事。私の主治医は外来で一日40人、オンラインで100人近くの患者さんを朝5時までかけて診ていらっしゃいます。コロナ後遺症の効果的だとされる治療の一つに「鍼」があるのですが、ここを保険適用にして頂きたい。あとは医師の診療報酬の見直しが必要かと考えます。
60代	半年以上	はっきりと後遺症だと決められないし、経済的に困った訳では無いので何とも言えない。
40代	1年以上	後遺症に無理解な医者が多く検査に異常がないと精神的なものだと言われてしまう。除外診断をするためにドクターショッピングになる人が多く、検査費用の負担大。東洋医学に頼らざるを得ない場合もあり保険診療が受けられない。
30代	1か月以内	なし。みんな等しくかかる病気に支援は逆差別。
30代	1か月～3か月	私はたまたま後遺症が軽症ですみましたが、失業や休業してる人もいるので、そういった人々の生活の保障をして欲しい。
20代	1年以上	治療費もない
40代	半年以上	明確に「後遺症です」と診断してくれるところは、ありませんでした。困窮者自立支援と自宅の売却でなんとかしのいでいました
20代	1か月～3か月	コロナ後の通院も補償してほしい
40代	1か月～3か月	後遺症に対しての理解の無さ。
40代	半年以上	このようなアレルギー症状は、感染症の後にありうることで、何かとくにできることはない、というのが医師の見解でした。ただ、そもそも後遺症の情報集約・研究・医師への共有がほとんどなされていない(ヒラハタクリニックの活動を除いては)のが問題かと思います。
40代	半年以上	コロナ罹患時にPCRを受けられていない(無症状だったので。罹患後数週間して受けたモニタリング検査で陽性反応が出たがその2日後に行った発熱外来では陰性。その後、後遺症を発症し、かかりつけ医に相談した際に「罹患後1ヶ月くらいはPCR陽性になる事も多いからおそらく少し前に罹っていたのだろう」と言われた)ため、後遺症の可能性にたどり着くまで大変だった。毎月PCR検査を受けられていたら罹患を自覚して無理をせずに過ごせて後遺症を発症しなかった可能性がある。無料検査の充実が必要。
50代	3か月～半年	現在生活保護を受けてますが全然足りません。 栄養が取れるだけの保護費がほしい。
50代	1か月～3か月	一定期間以上長引く方は経済的支援が必要だと思うし、ネットなどのからの情報が取れない方が多いのも問題

年齢	期間	
30代	1か月以内	金銭面の補償、医療機関が逼迫していてみてもらえないこと。
50代	3か月～半年	コロナに関する検査や治療費は無償にしてほしい
50代	半年以上	都の自宅療養用の食糧支援を受けました。 申請者が多く処理に時間がかかるので軽症の方は支援要請を遠慮して欲しい旨の印刷物が有った。 それは行政側の問題であって罹患者は苦しんでいるのだから支援救援の要請をするのは当たり前だし、 言葉は酷いけれど「税金払ってるんだから助けてくれ！」と思う。
30代	1年以上	2、3年はかかるので、戻れる職場を確保して欲しい。家族の支援がなければ働かないで2年も保たない
70代	半年以上	まず、後遺症の情報が少なく、Bスポット療法というのが効果的だということで医師を探しました。幸運なことに近所により医師がいて、Bスポット療法をしてくれているのですが、通える範囲でもここだけではないかと思えます。この治療で一時は回復しましたが、コロナ蔓延で感染リスクのほう怖く、しばらく治療を中断したため悪化して、最近ようやくまた通い始めました。1週間に1度は通うように言われています。ただ、待合室は換気が十分ではないですし、やはり感染者と隣り合わせのリスクがあり心配です。また、味覚障害は今後本当に治るのかどうか。調べても情報がなくわかりません。高齢者で味覚・嗅覚障害は、認知症リスクと関連するとも言いますが、そもそもそれをチェックするような方法もないです。
10代	半年以上	後遺症外来の周知不足
40代	3か月～半年	後遺症外来がない都道府県に住んでいる為受診したくてもできない。 身体が辛いと遠くまで受診しに行けない。  後遺症が重いとどれだけ辛いかが、周りのに理解されないのも症状以上に辛い。
30代	1か月～3か月	後遺症対応の病院が少ない
40代	半年以上	しばらく自宅にて療養していたが8キロ減となり親1人子1人で子どもまで後遺症となり限界を感じ、社会的入院としてなんとか受け入れてもらった。もともとパートのため傷病手当だけでは生活と入院費が大変
40代	3か月～半年	私の場合は、私自身の自覚より先に、かかりつけ医から、コロナ後遺症の診断と休職の指示があり、傷病手当書類も書いていただきましたが…… かかりつけ医がなかったら不便だっただろうと思います。
20代	1か月～3か月	後遺症で仕事を休むことへの理解促進。 後遺症外来の設置を増やしてほしい。
40代	3か月～半年	明確な診断がおりない、保障がない

年齢	期間	
40代	1か月～3か月	<p>後遺症だと思う症状があるが、病院に行っても先生によっては精神科に行った方が良いと言われると聞いた。わからないことが多いのはわかるが、行って余計精神的に辛くなるのではと思って、病院には行きませんでした。</p> <p>市販薬やTwitterなどの情報から色々試してだいぶ回復してきました。</p> <p>コロナ後遺症を医師も周りの人も気のせいとか思ってる人も多い。</p> <p>それが精神的に1番辛いです。</p> <p>治ったと思ったらまた調子悪くなるの繰り返しなので、普通の風邪ではないと思います。</p> <p>仕事を探そうと思っていたタイミングだったのですが、まだ探せていません。</p> <p>私は主婦なのでなんとかこなしていますが、1人暮らしの人は相当キツイと思います。</p> <p>2週間で動けることになってるけど、実際は1ヶ月はとて辛かったです。相談できる場所もなく大変困りました。</p> <p>半年くらいの長期的な支援があるとありがたいです。病院にかかるのもお金がかかって大変なので、気軽に行けません。</p> <p>アプリとかで感染した人が情報共有できるのがあたりしたら良いと思います。</p>
30代	半年以上	治療費がバカにならず、傷病手当では毎月赤字でした。
10歳未満	半年以上	まだ後遺症について、認識のない医療機関が多く、対処療法のみが多い
40代	1か月～3か月	後遺症の治療の通院、点滴、薬、サプリメント購入にお金がかかった。補助があっても良いのではないかと感じた。
30代	3か月～半年	<p>加入している民間の保険会社から、2ヶ月分のみ通院保証が出たが、その後は出ておらず、家計逼迫が続いている。</p> <p>医師から認定された後遺症に関しては、期間を設けず治療費の補助がいる。</p> <p>自信持ってやってきた仕事ができないことに対するメンタル面のケアはどうにもならないでしょうが、家計逼迫している金銭面の負担がなくなるだけで諦めもつく部分もあるかもしれない。</p>
10歳未満	1か月～3か月	<p>後遺症か断定できない、けどそうかもしれない、という話だった。</p> <p>未知の部分を研究する機関を作ってほしい</p>
50代	半年以上	後遺症外来がもっと近くにないと通院出来ない。点数を上げて多くの医院で診られるようにしてほしい。
10代	半年以上	<p>後遺症で熱が常にあるのですが、どここの医療機関を受診するにも発熱外来に通され、予約がいっぱいや、時間外との事で受診出来ない時もありました。やっと日赤で長期で見ていただく事ができました。</p> <p>子供を1人家に置いておく事もできず、家計は厳しいですが、時短での勤務にさせていただいています。有給も使い切り、旦那の給料だけでは生活が厳しく、不安です。経済的支援お願いしたいです。</p>
40代	3か月～半年	たくさんの症状がある場合に複数の診療科を自分で探して受診しなければならないこと。
30代	3か月～半年	治療費にお金が沢山かかり経済面でとても不安。
50代	1年以上	いつ治るか不明で治療でお金が尽きてしまう。ワクチン代負担してくれるなら、後遺症治療も公金投入して頂けたらありがたい。
20代	半年以上	後遺症を治療してくれる医師がいない
40代	半年以上	どこで治療してもらえるかわからない。経済的支援も必要。

年齢	期間	
60代	3か月～半年	もう少し真剣に考えてほしい。また治療費などの支援も必要
60代	半年以上	検査ばかりでお金がかかり、失業してるので貯金を切り崩してやっている。
20代	1か月～3か月	私は労災になったのでまだいいですが、労災ではなかったら治療費も掛かるし、仕事の給料も減るし、かなりの出費になる
60代	1年以上	障害者認定できれば金銭的によとは思いますが、なんらかの金銭的補助、また社会復帰が可能になるような会社からの休職期間を無期延長など
30代	1年以上	後遺症外来があってもオンライン、病院の数を増やしてください
30代	1年以上	時短勤務になったので金銭的にキツイです。前年より年収が減ったのに国保が上がってしまった為、治療費に回せるお金も減り悪循環。国保の金額設定の見直しや後遺症の治療費の免除などが必要だと思います。
40代	半年以上	事業者向けの給付金の申請が大変だった。愛を感じられなかった。
40代	1か月～3か月	自営業でも何かあるのでしょうか？
40代	1か月～3か月	パートだったので休職制度も適応されず退職となり病院代金もかかり、助けもなく、精神的な病いと思われ辛かった
40代	1か月以内	コロナはただの風邪ではありません。5類反対。
30代	3か月～半年	<p>治療的支援についてですが、まず、症状が改善しない方への治療の必要性を周知すべきです。社会的に理解されていません。厚生労働省の新型コロナウイルス感染症の罹患後症状に関するQ&amp;Aを読みましたが、症状が改善せず持続することが深刻な状態であると伝わりません。若くて健康な方程、無理を重ね病状を悪化させるように思います。</p> <p>治療的支援について、次に、コロナ後遺症患者に加え、コロナ罹患患者を受け入れる医療機関への経済的な支援が必要です。コロナの治療を受けるにあたり、医療機関の切迫した現状を知りました。質の高い医療サービスを継続して受け、社会に復帰するためには医療福祉制度の充実が不可欠です。</p> <p>治療的支援について、コロナ後遺症治療の研究を進めてほしいです。現在、明確な治療法がありません。日本の研究への予算は世界と比べてどうでしょうか？</p> <p>経済的支援について、コロナ後遺症が続き就労できない患者が活用できる支援制度を設けてほしいです。患者は若年～壮年層が多いと思われ、社会復帰を目指す道のりが陰しく途絶える方も多いと思います。少子高齢化が進行する下で、労働力の確保は重要な課題だと思います。</p>
30代	半年以上	治療が実費な事。毎日の暮らしのために仕事を辞めて休む事が選択できない事。
50代	3か月～半年	収入が途絶えること
30代	1年以上	後遺症を抱えながらの就労体制がなく、周りに理解されず働きにくい
40代	1か月～3か月	後遺症にまつわる治療期間が長くなると費用が負担になる。
20代	半年以上	休職になった際の金銭補填、在籍補償
50代	1か月～3か月	元々の持病があるので、精神科及び整形外科にはかかっており、コロナ感染と罹患後の症状悪化を伝えましたが、後遺症だとしても時間の経過とともに軽減するだろうとのことで、後遺症としての治療は受けていません。しかしすっきりしないので相談できる病院を探しています。

年齢	期間	
50代	3か月～半年	何処にかかったら良いか、情報がありません。 又、持病との折り合いが主治医にも分からないようで困っています。
40代	3か月～半年	後遺症に詳しい医師(病院)がいるといい。 私は議員なので報酬にはとくに影響ありませんでした。  【家族のこと】 息子は会社で賃金があまりでずに、月給がかなり少なかった。 当時(7月末に感染)、保健所からの指導として、熱がさがり決められた日数をすぎても症状があれば休むことを言われ従ったため、たしか二週間くらい休んでいました。 その保障はないのか。独り暮らしの方はどうなるのでしょうか。しかも保健所の指導により休んだにも関わらずです！生活考えれば、コロナ感染をかくして出勤する方がいてもおかしくないと思います。  また保健所から連絡がきたのは四日後。 後遺症以前に、不安しかなかった。
30代	1年以上	国は会社によってではなく、どんな人でも何かしら支援はしてほしい、労災保険だけではなく、働けないため
70代	半年以上	病院から難病申請と身体障害者の申請をしましたが、不認定にされました。
30代	1年以上	治療費を国で負担してほしい
40代	1か月～3か月	居住しているのが田舎で後遺症外来はなく、オンラインの後遺症外来を受診したが非常に混んでいて繋がるのが大変だった。 周りの人はみな後遺症外来の存在を知らず放置している。
40代	半年以上	コロナ後遺症に患者に対する支援はないため、医療費も高く、だんだん病院にも行けなくなってきています。  また、私はひとり親家庭ですが、秋に休職開始したタイミングで児童扶養手当が打ち切られました。前年度の収入がコロナにより忙しく、僅かに収入要件を上回ってしまったそうです。そうすると、これまでの医療費負担1割、下水道基本料金の減免、あらゆる団体に食料や様々な支援を得る為の要件となる児童扶養手当証書やマルオヤ医療証が無くなるため、実態としては、家計急変により非課税世帯以下に苦しくとも支援を受ける資格すら無いわけです。 どうかこの様な家計急変となってしまった世帯に対し、手当や支援、特例としての児童扶養手当受給が可能としていただきたいです。
30代	半年以上	コロナ後遺症外来が遠方で通う事ができません。より多くの病院が対応出来るようにしていただきたいと思っています。加えて、原因不明な症状を全て精神科に行けという方針はいかがなものかと思います。 私は鬱病歴がありますが、鬱病とコロナ後遺症は全く体感が違います。 原因がわからないから、ストレスや精神科案件と捉えられる風潮に怒りを感じています。
30代	半年以上	後遺症での治療(薬、整体、鍼灸)は保険適応外のものが多く、月五万程度医療費にかかっている。収入がない中でいつまでこの生活が続くのか不安。また、会社の休職が認められている期間内に復職できなければ職も失ってしまう。後遺症患者が安心して治療、そして社会復帰できるようサポートをお願いしたい。
10代	3か月～半年	治らないので不安だ
40代	1か月～3か月	後遺症の各種症状について、対応できる医療機関について、周知が足りない。

年齢	期間	
50代	半年以上	勤め先にも周知徹底してもらいたい。地方は、職場も医師も労基署の対応も東京と違うと感じた。あきらめて、退職する人、絶望して自殺した人とかいるのではないかと思う。また、コロナ後遺症じゃないかという、面倒そうな冷たい対応が多い気がする。一部の善意の先生方に負担がかからないよう、診療報酬を上げ、診てみようかと他の医師も思えるようにしてほしい。
20代	3か月～半年	<p>・私は転職活動中(無職)の時に感染してしまい、経済的支援を何も受けられていません。もしかしたら何か方法があるのかもしれませんが、辿り着くことができませんでした。ですので、従来の制度の対象にコロナ(ワクチン)後遺症患者を含めるよう変更するなど、無職の後遺症患者へ向けた支援をして頂けたらと思っています。</p> <p>・後遺症に対して無理解で暴言を吐かれたり、鼻で笑われたりする人が多いです。地方になるほどその傾向は強いと感じます。都市部に住んでいる私が後遺症外来にかかったときですら、『精神的に不安定になるとそういう症状が出る』と言われてしまったこともあるほどです。</p> <p>治療法やメカニズムが解明されていないまだまだ未知の病ではありますが、後遺症患者への配慮や、現在分かっている症状の把握など、『後遺症は実在し、心の病ではない』ということを経験者の方達の方に周知していただく必要があると感じます。</p> <p>そのような理解を得ると同時に、お医者様にとって診療報酬がとても低く、儲けにならない後遺症の治療に対して特別に報酬を上げるなど、治す側の人損をしない仕組みづくりも必要です。</p> <p>実際、コロナ後遺症治療の第一人者である平畑光一先生は、これまでに5000人以上の後遺症患者を診てきているにも関わらず診療報酬の低さが原因で経営状況が厳しく、寄付を募るほどでした。</p>
50代	1年以上	特効薬もなく、休めば生活困窮に陥り貯金も使い果たした。以前から生活困窮で生命保険も入れずそこにコロナ感染。 国は後遺症へのバックアップを今からでも充実させないと最悪、自死者増加に繋がると思います。
50代	半年以上	知り合いの看護師さんは、いろいろな問題を乗り越えて、やっと労災認定されました。もう9ヶ月経っても治らないので、今後が心配です。 耳鼻咽喉科での、上咽頭擦過療法、後遺症外来、いつまで行くのかと思うと不安です。まだまだ治らないようであれば、労災申請をトライしたらいいのか等考えています。
40代	3か月～半年	非正規雇用なので、2ヶ月仕事を休んでいました。夫も自営業で同時期にコロナに感染し、2ヶ月間全く収入なし。 貯金を崩して生活しました。精神的にもキツかったです。いまだにその分の穴埋めの貯金の補填はできていません。
50代	1年以上	まず、 コロナはただの風邪、インフルエンザ並み、 という世間一般に流布されている共通認識を改めてほしい。 現状だと、「わがまま病」「さぼり」のようにとられてしまう。  後遺症患者の全体数、症状の把握、 治療法の確立を急いでほしい。 日本全国老若男女、後遺症に苦しみ、生活が困窮し、精神的に追い詰められている人は大勢いる。
40代	1か月以内	地方在住のため、コロナ後遺症かどうか診断し治療してくれる医療機関が近くにない。

年齢	期間	
30代	半年以上	受診する先々で理解されず検査もされない 余程重症じゃないと、検査も診断もされないと理解したが、軽症でも生活支障ある 医療側の理解が少ないんじゃないか
20代	半年以上	長期戦になる人も多くいるので、少しずつでも支援金がいただけるとありがたいです。
40代	1年以上	治療のノウハウを持った医者が少ない。コレといった治療薬がまだない。
20代	1年以上	2020年2月中旬から風邪のような症状がありましたが37.5度以上が4日以上続いていない、 周囲に海外に渡航していた人がいないということでPCR検査を受けられずコロナ罹患の証明 はされていませんので後遺症疑いという状態です。ヒラハタクリニックでオンライン診察を受けて 処方されたお薬を飲む毎日ですが、倦怠感や頭痛など様々な体調不良から外出したり、勉強 したり、様々な当たり前の日常生活が送れません。公的支援は受けておらず収入のない 娘に年金の督促は何度も来ます。退学してこの4月から学生ではなくなり無職の娘に月 16000円という高額な保険料は厳しいです。後遺症を診察してくれる医療機関が身近にな く、受診しても精神的なものと言われて終わりです。後遺症の事を理解して治療する医療 機関がもっと増えるといいと思います。ヒラハタクリニックの先生方はたくさん患者さんに対応 しておられて疲労困憊です。後遺症治療の医療報酬が低いせいなのか経営が大変なよう ですので、後遺症治療するとクリニック経営が大変になる現状も改善していただきたいと思 います。
50代	1か月～3か月	軽症でも自宅療養時に治療薬の処方が必要
40代	3か月～半年	誰もがすぐ検査して、治療できる体制
30代	1年以上	経済的支援が早急に必要。特に後遺症は証明がしづらく、障害年金なども受けづらい状 況。
20代	1か月～3か月	会社が後遺症に寄り添ってほしい
50代	1か月～3か月	自分のように無職だったり、主婦の場合は、支援は難しいんだろうなと思います。休業も休学 もない…。家事も介護もパワーダウンで生活の質がすごく下がりました。せめて「後遺症で受 診無料」があれば。また、職場や学校がないため、後遺症のことを共有したり相談する機会も なく、ただ漫然と回復を待つしかないと感じる(と、このアンケートに回答していて気がついた。あ りがとうございます)。
30代		保健所の対応はずさんです
40代	半年以上	外出が怖いので通院が辛い
50代	半年以上	治療について、保健所へ相談したが、自身でホームページ記載されている後遺症外来をみて と言われただけ。有効な治療法は結局SNS頼りだった。診てくれる耳鼻科や病院が少なく、 どこにも相談できず苦しかった。
40代	半年以上	治療に行き着くまでの道のりの長さ、医療機関の質の違い
60代	半年以上	公的なサポートは何もない
30代	半年以上	後遺症外来の全国的普及
30代	半年以上	休職期間がいつまで続くのかわからない不安。派遣なのでいつ切られるか不安。
20代	1年以上	病院が少ない、認知が低く医者に傷つけられる

年齢	期間	
40代	1年以上	後遺症について知識が無い病院ばかりなので、それは仕方ない事ですが精神的に負担がありました。電話してもタライ回しで、地域の後遺症相談の指定病院に電話しても、まずは近所の内科で診てもらってと言われ、近所の病院では、後遺症専門の病院に、と言われます。後遺症専門のクリニックは予約が数ヶ月先、Bスポット治療が出来る耳鼻科を探しても、予約が困難で、元気が無いので受診までがかなりのハードルです。
30代	1か月～3か月	毎週の通院になると、お金がかかります。レントゲンを撮ったりするので、尚更です。3000円以下ですが、毎週なので地味に辛いです。
20代	3か月～半年	患者への金銭的な支援が必要だと思います。主に2つあります。  ・医療について 医療機関への受診費、薬代、会社へ提出するための休業の診断書代などです。最寄りの後遺症外来が他県にしかない場合は、県を跨いだ通院にかかる交通費の補助。数は少ないとは思いますが、歩行困難になった方への補助器具などの物的な支援です。  ・生活について 質問9以外の、公的な支援が必要だと感じます。治療するまでの経済的支援をふくめた、住宅費や水光熱費の支援、場合によっては家族世帯による食糧支援など。長期療養になったとき、患者本人もその家族も、療養に専念できるような保障が必要だと思います。  医療機関などへも補助が必要だと思います。後遺症外来での診察を診療報酬へと組み込み、最寄りの医療機関にて、診察・診療できるようにすべきだと感じます。 もともと赤字経営のつづく医療機関が、お金にならない診察を善意のみで積極的に行うとは考えにくいからです。また、診察をおこなっている医療機関であっても、補助金が出ないために、診察を続けるための収入源は必然的に、患者本人やその家族となります。休業を余儀なくされ、貯金を切り崩さなければならない状況に陥った後では、治療のために受診しつづけるのは難しいのではないのでしょうか。  自分は実家にて生活しているため、ひと月ごとの負担額はそれほど多くありません。しかし、もとの手取りが平均19万前後であること、今後、離職の可能性があり、就職活動をはじめると後遺症が改善するのかわからないこと、また再就職するまでの貯金残高など、さまざまな不安が頭をよぎります。もし一人暮らしや家族を養う立場であったなら、暮らしていくため、無理を重ねていると思います。そして実際に、辛い身体を押して生活している方は多いのでは、とどうしても考えてしまいます。
70代	1年以上	治療ができる病院が少なすぎるのと、服薬以外だと、痛みを伴う施術しかないので、あまり負担のかからない施術があるといいと思います。
20代	1か月～3か月	コロナ後遺症という明確な診断があることで経済的支援が受けられるような制度がないと、生活がままならないと思う。病院でコロナ後遺症に対する理解がもっと広がってほしい。診断が曖昧だと、不安も募り精神も病んでしまうと思う。コロナ後遺症の相談窓口も欲しい。(コロナやその不安に対する窓口はあるが、後遺症の相談窓口はなかった)
10代	3か月～半年	教育委員会は後遺症患者を置き去りにしていると感じます。
40代	1年以上	まず知られていないという事が問題
20代	半年以上	西洋医学では手段があまり望めず、鍼灸などの自由診療で高額負担になるそれでも治すため、無理してでも算出する
30代	半年以上	自営業や扶養内の収入の方への支援

年齢	期間	
30代	1か月～3か月	どんな病院に行くのがよいか、どんな支援が受けられるのかなどをどこに相談へ行けばよいか分からないので、相談窓口があればよいと思います。
40代	1年以上	初期なので、検査を受けられず、のちにやっと抗体検査できる世の中になった頃には、もう遅すぎてたぶん反応でないだろうということで、費用かかるので検査うけずに治療(というか相談)に使うことにしました。 が、その後、あなたの悪いところは検査うけてないこと、などと、経過をしらない医療関係者に言われたりしました。どうしろと…。 今後、なんらかの支援ができたとしても、私のようなコロナ後遺症疑い、の人間はそこからすら溢れおちそうです。 2020年2月14日に罹患しました。マスクもだれもしてない時期です。この時期からの後遺症患者も救ってください。
30代	1年以上	コロナ後遺症はうちではみていないと断られ、車で1時間近く掛かる病院まで行くのがとてもしんどい
50代	3か月～半年	後遺症専門の医療機関、医療費を含めもっともっと国の主導のもとでの積極的な体制作りを推し進めて欲しい。
30代	1年以上	治療が全て手探りで、対処療法しかなく、いつまで今ある症状が続くのかわからない。治療費だけでなく、体調に合わせて仕事をしていると収入は3分の1まで減少。無理して働くと症状がぶり返します。軽作業の仕事が出来る場合は傷病手当も受けられず、仕事をしない方が(出来ないと言った方が)お金が貰える状況をどうにかしてほしいです。コロナ後遺症はこれまでの経済的支援では生活出来ません。
30代	半年以上	無収入になったのに、治療費はかかる、歩行困難なため介護タクシーを呼んで(1回1万円以上かかる)通院中。手当てが欲しい
40代	1か月以内	正しい情報がどこになるのか分かりません。
50代	1年以上	治療や経済的支援を国で援助してほしい
40代	1年以上	この3年間というもの、まさに棄民状態で何の支援もありません。 コロナ確定診断が無いので、民間の医療保険も下りていません。 PCR検査を拒否された人や、不顕性感染からのコロナ後遺症患者も、後遺症として認めて欲しいです。 せめて、後遺症外来の受け入れの権利くらいは、分け隔て無く与えて欲しいです。  家で寝てろと言ったのは厚労省です。 PCR検査を抑制したのも厚労省です。 自己責任にされては困ります。 今後国から支援があっても、私はまた除外されて対象外になり、全て自己負担のままになりそうです。  症状が重い人ほど病院に行かれず放置状態になります。 対処療法しか無いのに、年間数十万円の医療費や自己治療費がかかります。  身体障害者手帳の申請までに時間がかかりますし、1級2級以外は医療費の助成はありません。(医師は治せると思い、なかなか申請に協力的ではありません。)  電動車椅子の無料貸出しや、通院介助が無いと、通院自体が困難です。  本来は入院が必要な重症者には、後遺症療養施設が必要です。 料理も洗濯も辛いです。
50代	1年以上	社会保険事務所に相談して、緊急小口資金と総合支援金を申請し、受けることができた。

年齢	期間	
50代	1か月～3か月	もともと病気(指定難病)療養中の無職なので何の支援もない。民間の保険は入院でない限り下りない。年金暮らしの病気の親に生活を支えてもらい長らえている身で後遺症外来の受診は憚られる。いつ快復するかわからないものに3割負担は重すぎる。通院先に外来があるのに難病の受給者証は使えないから受診は控えてひたすら自宅療養するしかない。子どもがない家にはいつも経済的な支援がないのは罰みたいだ。
50代	1年以上	働けない場合に毎月支払われる民間の所得補償保険に加入していましたが、2箇所の病院から就業不能の診断書などを揃えて、昨年1月に申請しました。しかし、1年以上経過しても、支払う、支払わないとも判断を出してもらえず困っています。約款には、医療機関への照会などが必要な場合も3か月以内に支払いする、しないの決定をすると明記されているのに…。 私の他にもコロナ後遺症から就業不能になり、不払いになった方々があります。メディアや政府が、後遺症に関連する民間の損害保険に言及しないので、保険会社のやりたい放題、つまり、保留又は支払わない状況が多いと推察します。 また、私は整骨院を法人で経営していて感染したのですが、社長は労災に加入できることが周知されておらず知らなかったため、従業員には加入させていましたが、私は加入していませんでした。そのため、傷病手当金だけになり最高で1年半しか支給されません。労災に加入していれば、期間制限なく働けない間は金銭的に補償されると社労士さんから聞きました。 障害年金を申請中ですが、生活が成り立つほどの金額はでないそうです。このあたり、社長であったがために労災に加入しておらず、就業不能が長引く重症者に対し、国として特別な支援を検討していただきたいと思います。
40代	1か月～3か月	地方には後遺症外来がほとんどない。地域格差をなくしてほしい
50代	半年以上	障害者認定同等の公的支援(訪問治療、リハビリなど)
40代	1年以上	児童扶養手当は前年の収入で減らされ、児童手当も年齢と2人兄弟と言うことから1人5000円、コロナにかかった人への保険も何も無くなり、なお後遺症への保険などもなく、日々支払いの事を考えながら子供に我慢をさせないといけない生活になった。物価高騰が打撃となり、生活保護にするしか方法がないと言われます。生活保護にする事での子供への影響を考えると生活支援金の給付を大至急してもらいたいです。
50代	1年以上	金銭面と生活の支援が必要。
10代	1年以上	子供を診れる後遺症外来がない。 治療にかかる、サプリメント代などの助成がほしい。
30代	1年以上	治療費、通院費、休職・退職になった場合の経済的支援は絶対に必要不可欠です。
30代	3か月～半年	治療費の負担が大きい。
50代	1か月～3か月	後遺症に関しては、相談も受診していません。服薬すれば治まるため、受診しなくてもいいかなと、思っているためです(薬代は増えたけど)。
20代	3か月～半年	後遺症の人限定に支援してほしい。あとワクチン注射を廃止してほしい。
50代	1か月以内	詐称と本当の症状との区別が難しいと思いますが、本当に困っている方に対しては手厚い治療や支援をしてほしいと願っています。
30代	半年以上	私は傷病手当がまだ1年近く残っているのでその期間に完治できればと思っているが、ずっと外回りの営業職で体力がいる仕事だった為寛解しても元の職種に戻るのには難しいと感じています。身体に負担のない仕事につけるか等の保証もないし、病状がよくなるかわからず、傷病手当が終わった後の経済的な不安は大きいです。

年齢	期間	
50代	1年以上	まずPCRで罹患を特定しないと後遺症の治療に繋がるのが難しいので(私は初期の37.5℃4日間ルールにより検査を受けられなかった)、蔓延期に検査が飽和して受けられない、ということがないようにお願いしたいところです。また5類への移行でこの検査体制がまた初期の頃の状態に戻ってしまうことがとても不安です。
30代	1か月～3か月	コロナになった時のような病院の診断書一つで治療費を補償して頂きたいです。
40代	1年以上	労災の延長など経済的支援が必要と強く思う。
40代	半年以上	診てくれる病院が少なすぎる。歩行困難なため、通院は主人に車椅子で連れていってもらい、死にもものぐるい。在宅訪問治療が必要。車椅子も半年以上レンタル。家事ができず、宅配弁当。息子の送迎もサポーターをお願いしているため、出費がかさむ。
30代	3か月～半年	コロナ後遺症を診てくれる医療機関を増やしていただきたいのですが、そもそも後遺症に対して知識不足の医師が多いです。コロナ後遺症といえば上咽頭炎が主流なのに耳鼻科医ですら上咽頭を知りません。ネット上の素人の方がよく知っています。早急に知識をつけて治療に取り組んでいただきたいです。また休業中無収入の方の支援をお願いしたいですし、それに関しての書類集めなどは簡素なものにいただきたいです。みんな病人なので色々な場所で色々な書類を集めるのが大変です。
40代	1か月～3か月	治療薬がもらえなかった
50代	1年以上	情報が限られており、周囲の理解が得られ難く、治療に専念することもままならないことが有り、必要な回復期間に対する支援が必要。 限られた休職期限で少しでも早い回復の可能性をかけようとすると高額の治療を試す場合も出てしまうが、実際脳に磁気をあてる高額なTMS治療の為、頻繁かつ高頻度に通院を要した為に却って通院負担で悪化した。 また、フルタイムでの仕事継続が困難な状況において休職や復職の為には診断書が必要となるが、医療機関から容易に得られ難くその焦りからも悪化を招いていた事もあり、やはり医療機関での受入れや認知整備が望まれる。 一方で、治療法は確立されていないとはいえ、Q5で記載のサイトの「治療・注意」や「セルフケア」、「QA・情報」などにあるような、比較的経済負担の少ないもしくは無料の治療法も効果が検証されつつあり、副作用がないものについては選択肢として情報周知が望まれる。
20代	1か月～3か月	コロナ後遺症の確立した治療法がないので治療費がかなりかさむ。お金が無い人は受けられないということか。診断書も休みが延びる度に書いてもらい、トータルで何万もかかった。
50代	半年以上	医療機関へのコロナ後遺症の周知
10代	1か月～3か月	毎週のように子どもの通院の為に仕事を休まないに行けなく収入減となり、とても大変です。我が家は、母子家庭の為大変です。収入減になりますが、職場の理解があり、休んで通院に行けるので、ありがたいですが、理解なければ、仕事か、通院どちらかを辞めていると思います。
50代	半年以上	積極的に有効な方法を一緒に考え試してもらえる病院は皆無。大学病院ですらエビデンスができたやると言われた。大学病院、研究機関、開業医含めた連携をとって、総力戦で取り組まないと早期治療はできない。そこに予算は使われていない。 国民年金法に後遺症の内容を追加して、万一回復しない場合の障害年金や就業不能保険が受けられる改正が必要。せめて後遺症は公費で負担してもらいたいです。特にワクチン後遺症は国策で進めたのですから、補償する義務があるはずですよ。
50代	1か月～3か月	横浜市のコロナ相談センターに電話しても何の役にも立ちませんでした せめて病院を紹介して欲しかったです。

年齢	期間	
30代	1か月～3か月	コロナに罹患後数ヶ月の間に体になんらかの不調(私の場合は動悸など今まで経験したことなかったのが)が生じた際に受診するための経済的支援があったらいいと思いました。
30代	1年以上	非正規の職だと生活保障が受けられません。それを改善していただきたいです。  治療に関しては、後遺症は脳神経障害の分野ですから、簡単には治りません。経済的サポートがあるとありがたいです。  後遺症を防ぐための治療薬は今後必須だと思います。塩野義のゾコーバは後遺症をある程度防ぐ効果があるらしいですが、そういったものが迅速に行き渡るシステムを作ってください。
40代	1年以上	給付金などが本当に必要だと思います！ また、治療が出来る病院が少なすぎます。「コロナ後遺症外来」を掲げていても、実際にコロナ後遺症に理解があり、治療が出来る病院には結局出会えておらず、自力で試行錯誤しています。保険の効く病院での検査などもお金がかかりますが、コロナ後遺症に効くと言われていた鍼治療などが保険が効かないのが本当に困ります。 働けなくて収入はないのに、良くなるためにどこに行けば治るのかわからず、病院に行っても解決しなかったのも、鍼治療などに今も通っていますが、六千円から一万円のところがほとんどで、本当に出費が嵩みます。 ブレインフォグに良いと言われるrTMSはさらに高額、点滴療法なども効果があるとは聞きますが一回10000円近く、週に2回、数ヶ月は通う必要がある、というようなものなのでいまだに手が出ていません。 病院での治療で完治できる治療がない以上、良いと言われる治療を試すしかないのですが、保険が効かないので、できる治療が限られてしまうことが悩みです。
30代	半年以上	休職から退職になりそうで、生活が困難
20代	1年以上	労災適用以外の治療費(鍼灸や点滴)の負担が重い。後遺症といっても、軽い症状の人から私のような長期化している重い人もいる。 重い人を治療してくれる医療機関が少ない。
20代	半年以上	これといった決定的な治療法がないため、効くと言われるようなものは全て試さざるを得ません。 金銭的な負担が重いです。
40代	1年以上	休業や失業をしていない。
50代	1年以上	職を失う人に対する経済的な手当が必要。
30代	1年以上	はい。有ります。 私は、業務上の事由か判断が難しく、労災認定は出来ず、健康保険から傷病手当金の支給しか出来ないと会社に言われました。 一年半しか支給出来ないのも、その先がとても不安です。 コロナ後遺症患者に、治療費支給や生活保障をする制度を設けてほしいです。
20代	1年以上	私含めとにかく後遺症患者は血液検査やCT、MRI、エコー、その他諸々の検査で本当に医療費がかかるし、治療の薬代もすごいことになっているので経済的支援は必要です。特に後遺症で働けないという方もたくさんいらっしゃるのでもっと尚更。
40代	3か月～半年	コロナ検査診察は、無料ですが後遺症の支援もあると助かる。
40代	1年以上	風邪の初期症状が頻発するという症例自体が殆ど知られていないのが問題です。少数の事例でも軽視されない治療が求められます。

年齢	期間	
30代	3か月～半年	ワクチン接種有無に関わらず、後遺症が出ていると思われる場合、コロナ罹患と同じ様に自宅待機等を認める
40代	半年以上	ワクチンは無料、後遺症にも少し支援を必要
30代	1か月～3か月	地元でみてくれる病院が少ない。あってもPCRと抗原検査の結果が必要
40代	1か月以内	無い。自費で充分
30代	半年以上	コロナ後遺症を専門で見えてくれる医師が少なすぎる。コロナ後遺症の療養には休息が必要だとネットでは言われているのに「運動してみたらどうですか?」「寝てばかりだと治りませんよ」等と逆の事を言われ、治療に不安があるものの他にみえてくれる医師がいないため仕方なく現在の医師にかかっている。現在の医師は後遺症専門の医師ではないが、傷病手当を申請するためには医師にかからなければ仕方がないので。しかし、その医師に理解がなければ症状はあるのに療養が出来なくなる可能性もあり不安である。
50代	3か月～半年	現在確認中
30代	1か月以内	働かなくなった際の保証が扶養でも出して欲しい。
40代	1か月～3か月	後遺症患者の場合、検査結果上異常なしということが多くあります。しかし、日常生活や社会生活がままならないほどに体調が悪化していきます。医療現場では、検査上異常がない患者は、治療の対象とはなりません。大学病院を受診した際に、コロナ後遺症患者は見られないと門前払いでした。寝たきりの状態になっても入院すらできないというのが現状です。後遺症外来が設置されていても、医師の知識や経験にはばらつきがあり、有効な治療にたどり着かないこともあります。東京都は、後遺症の相談窓口を都立病院に設置していますが、相談しても一般的な情報しか得られず、後遺症相談のエキスパートが配属されているとはいえない印象を受けました。関わる人たちが実態をきちんと把握し、必要な治療や情報が得られるように整備していく必要があると思います。経済的な支援に関しては、会社員の場合、休職になれば健康保険から傷病手当が支給されますが、その他、経済保障は受けられません。治療にかかる費用はばかにならず、経済的に余裕がない方の場合、十分な治療すら受けられないのではないのでしょうか
40代	1か月～3か月	寝たきりや遠方で医療にかかれない方のために、オンラインや往診をしてくれる後遺症外来を増やしてほしい。
50代	半年以上	経済的なことも重要だが、治療法やワクチンもデタラメや真実隠蔽等、情報操作はいい加減やめてくれ。
50代	1か月～3か月	なにしろ効果的な治療法がないので、いつまで続くのか不安です。
10代	半年以上	情報がなさすぎる為、まず通院先に困ります。そして対症療法しかない為、漢方、鍼灸、整体、サプリと自己負担がどんどん膨れ上がります。自治体で使える施設があっても対象が高齢者のみだったり若い人は本当に公的に使える助成が少なすぎます。  また、毒親との関係で実家を頼ることができない一人暮らしの患者は沢山います。  通院補助や家事の補助など早急になんとかしてあげてください。このままでは、お金はつき症状は回復しない若者がどんどん増えます。税金を納める層が仕事に戻れず苦しんでいます。
40代	1か月～3か月	自宅療養で保険金至急がなくなったり、罹患中の休暇は有給か欠勤扱いなのはつらいです。後遺症で受診していますが、後遺症の補助がないのは経済的にも続けるのが大変な人も多く多いと思います。一回二千元くらい毎週通っています。

年齢	期間	
40代	1か月～3か月	単身者で、勤務先(ドラッグストア)で実施している抗原検査で嘔吐した陽性者の対応をした数日後に自分も発熱したのでおそらく勤務中に感染したのだと思うが、自宅待機中は無給。何かしら補償があればなあと思った。
40代	1年以上	<p>2020年初期に後遺症を発症した人達は、厚労省によるPCR検査抑制政策のため、コロナ確定診断がありません。ほとんどの後遺症外来の受診資格もありません。ヒラハタクリニックが混んでいるのは、平畑医師が確定診断のない患者を受け入れてくれたからです。</p> <p>しかし私は渋谷までは遠くて行かれず、近くの医療機関では後遺症に特化した検査と治療など受けられませんでした。</p> <p>Twitterでは以下のタグを使い、何度もツイデモを行いました。このツイデモに参加した私も他の方も重症者は未だ治っていません。</p> <p>医療から心因性にされて門前払いされ続けた患者をまず救って欲しいです。福祉にも繋がれず、医療費の支援がありません。</p> <p>#長期微熱組や長期不調組を救って下さい #長期微熱 #長期不調</p> <p>既に感染性が無くとも、微熱や頭痛や咽喉痛があると医療機関を受診できない事もあります。その時に確定診断が無いと「コロナ後遺症です」と言えないのが、とても不便でした。健診の受付で足止めされた事もあります。</p>
40代	1か月～3か月	早く治療薬をつくってほしい
20代	3か月～半年	診察をしてくれる病院探しが大変。診断書をもらうまでにも時間がかかる。
40代	1年以上	対症療法をしているが、根本的な治療がないので不安が多い
40代	1年以上	公務員でしたが、看護師という特殊な公務員だったため事務等の配置換えもできず、辞めざるを得ませんでした。でも、「公務員」だから雇用保険がなく失業保険は貰えず…。公務労災の書類も職場からもらえませんでした。
50代	半年以上	政治家、医療従事者の知識や理解の乏しさ
40代	1か月～3か月	後遺症について診察できる医師が少ない。
10代	3か月～半年	学校のオンライン授業が出席になるようにしてほしい。
50代	1か月～3か月	<p>医師が後遺症の詳細を勉強していない。</p> <p>多分厚労省からの正しい通達も無いのではと感じられる。</p> <p>症状をその場抑える投薬しか出来ない。</p> <p>うちの家族は自分で日頃からコロナの勉強はしていたので、鼻うがいと漢方と西洋医学薬とで並行して治療している。</p>
10代	半年以上	<p>近くに後遺症外来が無い。</p> <p>後遺症に理解が無い医師が多く、精神的なものと処理される。</p>
60代	1か月以内	わかりません
60代	1か月～3か月	有効な治療法が自費のため受けられない人がいます。それを助成して欲しい。

年齢	期間	
50代	1年以上	コロナにかかったように思いましたが、その際に発熱外来受診が叶わずなかったため、コロナ後遺症であることを証明できないのではと思っております。 結局、病院を受診できず、市販薬を使い、なんとか症状は落ち着いたものの、全て自己負担となってしまったことが辛いです。 育児中のため、自分の通院できる時間帯は限られてしまうため後回しになってしまい、なかなか受診できないという背景もありました。 病後は栄養に気を使い、ビタミン剤や栄養ドリンクを飲んだりしながら、どうにか日々の家事をしています。物価高もあり、貯金を取り崩していく中で、老後の一千万円を貯めることなど途方もないと感じますし、これからのこの教育費を考えると、なんとか体調を取り戻して働き、少しでも稼がねばと焦るばかりです。
50代	1か月～3か月	保険診療にしてほしい。 何より社会的な周知、医療機関で治療につながるようお願いいたします。
50代	1年以上	早期のpcr検査、抗ウイルス薬の投与が後遺症のリスクを下げる上でも必要不可欠だと思います。
50代	1年以上	五類下るとしても延々消えないの症状を治療を政府か経済支援してほしい。
50代	1年以上	近くの病院で適切な治療が受けたい
30代	1年以上	わたしはたまたま後遺症に非常に理解があるととも適切な治療を行う後遺症外来・耳鼻科・鍼灸治療院に通うことができている。 だが全国では適切な治療を受けられない人が多いのが問題だと思う。 わたしの通う後遺症外来では診療報酬が安い中多くの患者を夜中まで診察している状況である。 このように真摯に研究・診察してくれている病院に国からサポートできないものか。 治療に関しては、様々な検査・服薬を含め費用の負担が大きい。現在治療費に関しては労災申請をしているが、認定されるかわからない。 家事もできないような状況で仕事などとてもできないため、今後の生活や将来の生活が不安だ。 今後就職するとしても身体の調子に合わせて仕事ができる職場はそうそうないと思う。そのような職場を探すだけで疲弊してしまう。短時間・週一日より働き始められるような職場を紹介してほしい。
40代	3か月～半年	自宅療養期間、仕事も有給扱い。有給がなくなり欠勤で休むしかない。
40代	1か月～3か月	わからないけど、とにかくただの風邪じゃないことは確かだから国は諦めずにどうにかして欲しい。
40代	3か月～半年	職場が労災申請に非協力的なため、お金がない。貯金も底をついた。有効な治療があっても、経済的困窮しているため整体・鍼やBスポットなど受けることができず、寛解にどれくらい時間を要してしまうのか不安になる。区役所に貸付金の問い合わせをしてもたらい回し。職員の対応が雑で傷つく。区役所などの社会支援担当も後遺症についての知識を学んでほしい。 医療機関の中にはお金儲けで自費診療を提示しているところがある。医者や看護師もコロナ後遺症に対して知識が乏しい医療機関もある。心無い言葉で患者を傷つける。社会全体でコロナ後遺症に対しての教育や支援体制を整備しなければ治療にたどり着けない。
20代	半年以上	後遺症の数を把握し、経済的支援に繋がれるように働きかけてほしい
20代	1年以上	経済的支援があまり知られていなかったため、支援を受けられなかったです。 知った時には、経済的支援の期間が終了していたり、受けようと思っても条件が厳しかったりともう少し改善してほしいです。
40代	半年以上	検査時に通常、他の疾患疑いでしか出せない血液検査の項目を広げて欲しい コレは内科で、アレは皮膚科で、それは脳外でとかたらいまわされすぎ

年齢	期間	
30代	半年以上	生命保険会社の就業不能保険に加入しているが十分な理解が得られず、給付に至るまでに時間を要している。
40代	半年以上	後遺症治療は自費のもの(鍼灸やrTMSなど)もあり、補助があるもありがたい。
50代	半年以上	コロナ後遺症を総合的にみてくれる医療機関をもっと増やしてもらいたい。
50代	1年以上	有効な治療は今のところないように思いますが、もっと研究を進め、詳細な検査体制を作ってほしい。 それと2020初期の検査難民をどうするのか？も課題として欲しい。
40代	1年以上	失業しても自己都合による退職として失業保険の待機中は支援がありませんでした。医療費はかなりかかり、貯金がみるみるうちに減っていき、不安な日々でした。仕事ができなくなるほど重い後遺症を抱える方も多くいらっしゃいます。心に寄り添ってもらえる場所や経済的支援が必要です。
40代	1か月～3か月	そもそもコロナ陽性の時も自宅療養で病院にかかれなかった。後遺症でかかれるのか、よく分からない。
40代	1か月～3か月	医療機関にもっと簡単にかかれるようにしてほしい。
30代	1年以上	国からの支援は一切ないので、傷病手当や失業手当が切れ、後遺症が治らなければ生活保護、それが難しければ死ぬしかないと感じています。
50代	半年以上	気のせいだと言われ、親身に話を聞いてくれる病院に出会えなかったことが残念でした。また周囲にいつまでもコロナのことを言っているとされるのも辛かったです。
50代	1か月～3か月	まずコロナ診療代も病院によって無料な所と通常診療代を取られる所があった。 隔離解除後から診療代がかかり長期の為、通常疾病の病院代+後遺症にかかる治療費で夫も後遺症が取れない為、病院代が大変だ。
30代	1年以上	いい加減海外にばらまくんじゃなく自国に給付してほしい。税もあげられ物価高このままじゃ野垂れ死にする
50代	1年以上	後遺症患者が220万人といわれるのに、後遺症と認められない。社会保障がない。
10歳未満	1年以上	個別に経済支援しっかりしてほしい
40代	半年以上	傷病手当が出るまでの期間が長すぎて経済的な不安が大きいです。 保険診療では効果が出ず、自費の鍼灸や漢方治療費を受けたため経済的な負担が大きいです。 民間の保険も後遺症治療では入院しないため使えず、傷病手当はいつ振り込まれるのかわからず不安しかありません。 不妊治療が一部保険適用や助成金が出るようになったように後遺症治療にも何か経済的な支援が欲しいです。  しっかり治療ができればまた働けます。 時短やリモートなど多様な働き方を認めてもらえればまた働けます。 労働力不足が叫ばれているなか後遺症患者を見て見ぬふりをするのは貴重な労働力を捨てているのと同じだと思います。
50代	3か月～半年	少なくとも罹患後一カ月は安静でいられるよう、有給のコロナ後遺症休暇が認められてほしい。